

第3期

【西予市宇和町宇和地区】

地域づくり 10ヶ年計画書



～松葉城から宇和地区を眺める～

令和5年3月

宇和地域づくり協議会

(宇和地区地域づくり活動センター検討会)

【目 次】

第 1 章 計画のあらまし	P 1
1. 計画の目的	
2. 計画の期間	
3. 宇和地区の現状	
第 2 章 計画策定の経緯	P 3
1. 第 1 期及び第 2 期計画の進捗状況	
(1) 人にやさしい活動	
(2) 地域にやさしい活動	
(3) 地球にやさしい活動	
2. 宇和地区のいいところ・わるいところ	
3. 地域課題の抽出	
(1) 個人で取り組むこと	
(2) 地域・地域住民で取り組むこと	
(3) 行政等が主体で取り組むこと	
4. 地域課題の分析	
第 3 章 基本構想	P 1 4
1. 基本構想（宇和地区が目指す将来像）	
(1) キャッチフレーズ	
2. 基本計画と実施計画	
(1) 基本計画 1 人にやさしい活動	
(2) 基本計画 2 地域にやさしい活動	
(3) 基本計画 3 地球にやさしい活動	
3. 組織・推進体制	
(1) 現在の組織体制	
(2) 今後の組織体制	
(3) 新組織における活動計画（アクションプラン）	
4. 計画の実現に向けて	

【参考資料】

- 1 宇和地区地域づくり活動センター検討会 委員名簿
- 2 検討会の実施内容
- 3 各地区、関係団体等への説明
- 4 児童・生徒を対象にした地域づくり授業
- 5 これからのまち（地域）づくりを考えるアンケート（結果）

（注釈）この計画書における「宇和地区」とは、宇和町小学校区（行政区：卯之町 1～16 区、鬼窪 8 区、郷団地、鬼窪 1～7 区、伊賀上 1～7 区、みどり団地、鬼窪 9 区、神領、久枝 1～3 区、野田、小野田、永長、れんげ団地、上松葉、下松葉、松葉団地、若宮団地、ひまわり団地）を指します。

第1章 計画のあらまし

1. 計画の目的

西予市では、平成23年度から地域への分権化として、地域住民の主体性を重視した「地域主権」の概念を取り入れ、『自分たちの地域を、自分たちの手で』を基本理念とするとともに、自主・自立に向けた地域の取り組みにより、暮らしやすく、個性豊かで活力に満ちた「地域づくり」を推進することを目的として、『地域発「せいよ地域づくり」事業』を実施しています。

宇和地区においては、平成23年度に行政区の区長を構成員とする「宇和地域づくり協議会」を立ち上げ、卯之町支部、鬼窪支部、伊賀上支部、上宇和支部を設置するとともに、本計画の基になる「地域づくり10ヶ年計画書」（以下「地域づくり計画」という。）を策定し、計画的な地域づくり活動を進めてきました。

この活動を通じて、支部活動を中心に多くの成果を上げている一方で、常に地域をとりまく環境は変化しており、令和5年4月からは、宇和地区を所管する「宇和公民館」が、「地域づくり活動センター」に移行することから、さらに効果的な地域づくり活動を展開するため、新たに「第3期地域づくり計画」を策定することにしました。

2. 計画の期間

計画の期間は、令和5年4月1日から令和15年3月31日まで10年間とし、この間3年に1回程度、計画の検証と見直しを行います。

なお、平成28年4月に策定した「第2期地域づくり計画」の計画期間は、令和8年3月31日までとしていましたが、地域づくり活動センターへの移行に合わせて、宇和地域づくり協議会の組織体制も見直すことから、令和5年3月31日付で第2期地域づくり計画は廃止し、第3期地域づくり計画に移行することにします。

3. 宇和地区の現状

私たちの住む宇和地区は、市の中心部にあり、市内27の小学校区別では、最も人口が多い地区です。

地区内には、市役所をはじめ、金融機関の支店、病院、商店街や商業施設、交通拠点（JR卯之町駅、宇和島自動車卯之町営業所など）等が所在するほか、田畑の広がる農村地域、商工業地域もあります。

また、「重要文化財開明学校」、「市指定文化財旧宇和町小学校舎」をはじめ、重要伝統的建造物群保存地区「卯之町の町並み」があり、市外からも多くの方が訪れる「歴史と文化」に恵まれた地域でもあります。

一方、地区の人口は、平成23年から10年間で、横ばいである（大きな増減がない）ものの、市内の他地域と同様に住民の高齢化は進んでおり、宇和地区（全47行政区）においても、65歳以上の高齢者が75%を超えている行政区があり、その内8行政区は、2人に一人が高齢者（65歳以上）となっています。

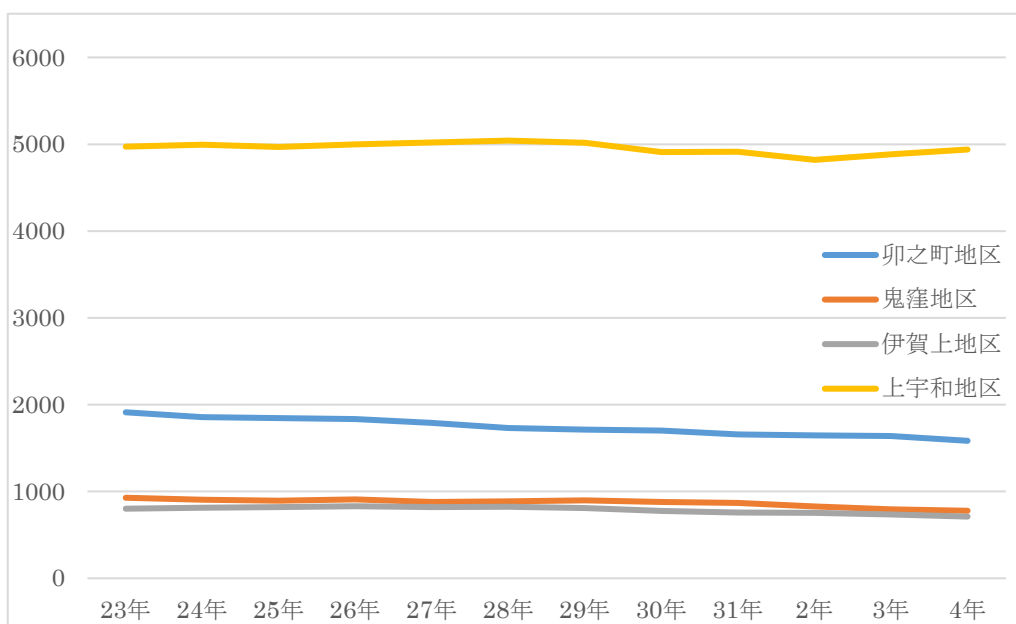


図1 人口推移

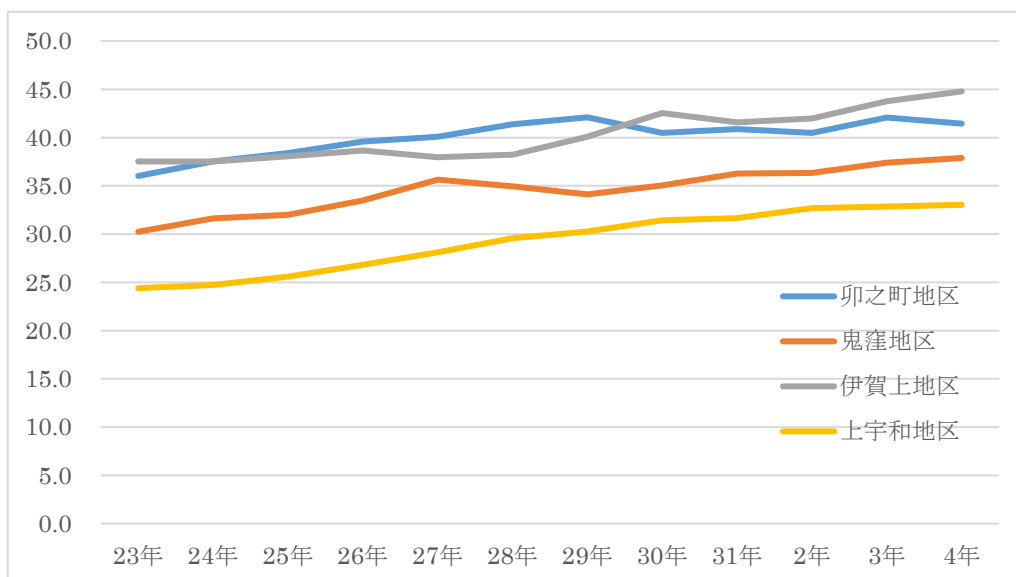


図2 高齢化率推移

高齢化に加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大による地域行事の中止等も重なり、住民同士で話す、交流する機会が少なくなり、大きな災害等が発生した時に必要な「共助」、地域コミュニティが衰退している傾向が見受けられます。

このような現状に危機感を持ち、これから直面する課題を含め、地域課題を把握し、行政に頼るだけでなく、地域住民自らも、課題解決に積極的に取り組んでいく必要があります。

第2章 計画策定の経緯

1. 第1期及び第2期計画の進捗状況

宇和地域づくり協議会では、平成23年4月に「第1期地域づくり計画」、平成28年4月に「第2期地域づくり計画」を策定し、「せいよ地域づくり交付金」を活用しながら、4つの支部（卯之町、鬼窪、伊賀上、上宇和）活動を中心に「地域づくり」に取り組んできました。

そこで、現在までに計画に掲げた「推進目標」が、どれだけ実現できているのか検証を行いました。そして、特に実現できていない、活動が不十分な取り組みなどについて検討しました。

(1) 基本方針1 人にやさしい活動

【推進目標】

私たちが住む宇和地区は、偉大なる先人たちにより守られてきた、豊かな自然と歴史、文化に恵まれた大変すばらしい地域です。

江戸時代には、宇和島藩の米蔵の役目を果たし、街道沿いの宿場町として栄えていました。

しかしながら、少子高齢化と過疎化で、西予市の人口は軒並み減少し、旧宇和町地区においては横ばい若しくは緩やかな減少となっております。

地域を活性化するには人の力が必要です。地域にある人財を発掘し、また、多くの人に移り住んでもらい、お互いに助け合い、また意見を述べ合い、地域の人々が、明るく、元気に、楽しく暮らすことができる地域を目指します。

【成果・評価】

実践内容①「みんなにやさしい地域づくり」

子どもの安全対策事業、子ども健やか育成事業を実施し、小学校の遊具や教材等の購入費用に充てているほか、高齢者スポーツ促進事業、福祉の里づくり事業を実施し、ゲートボール愛好会への支援を行いました。宇和町小学校や地区内の幼稚園、保育園の運営における必要な対策に充てることができ、高齢者スポーツ発展、福祉の里づくりに評価されています。

実践内容②「健康に暮らせる地域づくり」

ヨガ教室などへの支援に取り組み、高齢者を中心とした健康づくりに寄与することができました。

実践内容		具体的事業	成果・評価 ★の数（10点満点）
① みんなにやさしい地域づくり	子どもの安全対策事業	安全ジャンプ傘等の購入（1件）	★★★★★★★★★☆☆
	子ども健やか育成支援事業	遊具・教材等の購入（5件）	★★★★★★★★★☆☆
	高齢者スポーツ促進事業	ゲートボール愛好会への支援（5件）	★★★★★★★★★☆☆
	福祉の里づくり事業	防災訓練・防災用具等の購入（2件）	★★★★★★★★★☆☆
② 健康に暮らせる地域づくり	健康づくり促進事業	ヨガ教室の実施（5件）	★★★★★★★★★☆☆

表1 「人にやさしい活動」成果・評価

（2）基本方針2 地域にやさしい活動

【推進目標】

私たちが住む地域は、少子高齢化、核家族化が進行し、地域のつながりも次第に希薄になっており、地域の住民の顔が分からない、困った時に相談する人がいない等の問題も生じています。

また、平成21年12月8日、宇和地区内にある「卯之町の町並み」が、重要伝統的建造物群保存地区に選定され、歴史的価値の高い地域でもあります。

このことにより、私たちは、地域において、人と人とのつながりが強い地域、そして、安心・安全に暮らせる地域、歴史・文化を守り、育む地域を目指します。

【成果・評価】

実践内容①「みんなが安心・安全な地域づくり」

地域防災対策整備事業、防犯灯整備事業を実施し、災害時用保存食品・飲料水の購入ほか、防犯灯をLEDに交換しています。地域住民の安心、安全な暮らしの実現に寄与することができました。

実践内容②「みんなが交流できる地域づくり」

地域イベント支援、集会所カーテン取替・施設の修繕などに取り組み、地域コミュニティの醸成、地域拠点整備を図りました。

実践内容③「みんなの力で自主自立できる地域づくり」

実践内容④「みんなが歴史・文化を育む地域づくり」

住宅案内板の修繕、祭礼用備品等の整備を行いました。

実践内容		具体的事業	成果・評価 ★の数（10点満点）
① みんなが安心・安全な地域づくり	地域防災対策整備事業	災害時用保存食品・飲料水の購入（46件）	★★★★★★★★★★☆
	防犯灯整備事業	既存の防犯灯をLED防犯灯に交換（43件）	★★★★★★★★★★☆
② みんなが交流できる地域づくり	地域イベント支援事業	伊賀上ふるさとまつり・町歩き研修等の実施（50件）	★★★★★★★★★★☆
	コミュニティ施設整備事業	集会所カーテン取替・施設の修繕他（108件）	★★★★★★★★★★
③ みんなの力で自主自立できる地域づくり	地域施設整備改修事業	住宅案内板の修繕（1件）	★★★★★★☆☆☆☆
	協議会運営事業	事業運営に係る経費（5件）	★★★★★☆☆☆☆
④ みんなが歴史・文化を育む地域づくり	伝統文化継承事業	先進地視察研修の実施（2件）	★★★★☆☆☆☆
	伝統文化施設活性化整備事業	まつり用備品等の整備（17件）	★★★★★★★★★★☆☆

表2 「地域にやさしい活動」成果・評価

（3）基本方針3 地球にやさしい活動

【推進目標】

現在世界は、地球温暖化・異常気象・環境汚染・農地や山林の荒廃、ゴミ処理問題等の様々な環境問題が取りざたされています。

私たちの地域は、周囲を山で囲まれた宇和盆地内に位置しており、豊かな自然にあふれております。しかしながら、農地や山林におきましても、耕作放棄地等も増え、地域の環境もじわじわと悪化しています。

そのため、我々はこの美しい宇和盆地と地域環境を守り、後世に受け継いでいけるよう努力いたします。

【成果・評価】

実践内容①「環境に優しい地域づくり」

ゴミステーションの設置や、環境整備に必要な草刈り機等の購入を行い、美しい地区環境を整えた。

実践内容②「自然と共に生きる地域づくり」

休耕田を活用した芝桜等の植えつけなどに取り組み、愛着や誇りの持てる地域づくりを推進しました。

実践内容		具体的事業	成果・評価 ★の数（10点満点）
① 環境に 優しい地 域づくり	地域環境美化 活動事業	ゴミステーションの 設置（32件）	★★★★★★★★☆☆
	地域環境美化 設備整備事業	環境整備用具（ブロワ ー）の購入（1件）	★★★★☆☆☆☆☆☆
② 自然と 共に生き る地域づ くり	花いっぱい運 動事業	休耕田を活用した芝 桜等の植えつけ（5 件）	★★★★★★★★☆☆☆☆

表3 「地球にやさしい活動」成果・評価

2. 宇和地区のいいところ・わるいところ

計画の検討に先立ち、宇和地区のいいところ（地域資源）、わるいところ／直したいところ（地域課題等）をできるだけ多くあげる作業を行いました。地区には魅力ある数多くの地域資源がある一方で、解決すべき課題もかなり多いことが分かります。

項目		いいところ	わるいところ
人間関係	人	地域住民が増えている/若い人たちの引っ越してきて、子どもが多くなり、にぎやかである/人と人のふれあいがある/農村地区では人と人のつながりが残っている/近所づきあいがよい	若い人が地元に戻ってこない/人口数に対して区入りする戸数が少ない/地区内の人数が少なくなっている/外部からの住人が増えて人のつながりが少なくなっている/人と人のふれあいが全体として少なくなっている/地域の状況に関心が薄い/人とのつながりが薄い/高齢化が進んでいる
	地域活動	地域行事への参加に協力的である/地区行事の参加率が高い/地域の繋がりが密である	高齢化のため、行事への参加、役員選出が毎年問題になっている/地区行事に対する意識の低下/地区の活動に参加する人が少ない/地域で話し合う機会が少ない/自治会に加入しない
	マナー		ご近所でもあいさつがない/ゴミ出しのマナーが悪い
	意見・考え方		宇和地区全体で一体感がない/地元の良いところに地元の人気がついていない/物事をハッキリしない/言ったことと本人の実際の考え方が違う/人任せになっている
	人材	市内の他地域に比べ人口減少が緩やか	区長(地区役員)のなり手がいない/壮年会、婦人会、老人クラブの会員数の減少している
災害	災害	自然災害が少ない	
施設	集客施設	ドラッグストアが多い/まなびあんができて、便利がよくなった	
	病院等	病院・医院が近くにある/人口の割に病院が充実している	
	生活利便	子育て支援が充実している	
	公共施設・社会教育施設	公的機関(行政・警察など)が集中している/野球場がよくなった/運動公園が近くにある/公園が多い	公民館の知名度が低い/宇和体育館の雨漏り/運動公園の樹木が枯れている(管理が出来ていない)
名所・観光	文化財	重要伝統的建造物群保存地区「卯之町の町並み」、申議堂、開明学校、宇和米博物館(旧宇和町小学校)がある/松葉城、黒瀬城がある	歴史や文化財などの場所を知らない/黒瀬城の登山道が整備されていない/伝統的建造物群保存地区が生かせていない
生活環境	買い物	スーパーが近くにある/買い物がしやすい	
	地域差	南予地方の中心である/戦国時代までは南予の政治・文化の中心であった	
	産業	若い農業家や後継者が増加している	一次産業のブランド化/商店の衰退/観光に予算を使わない(地域任せ)
	労働	農業・商業が混在する	若い人が働く場所がない/仕事(就労の場所)が少ない
	環境	商業化が進んでいる	空き家が増えている
	農地		農業者の高齢化、担い手の減少によって、地区の水路などの施設の管理維持が難しくなりつつある
交通	公共交通	JR、高速道路IC、バス路線など公共交通網が良い	
	道路	主要道が整備され、町内はもとより近隣市町へのアクセスが良い	
	交通マナー	地域内の商店主が毎朝、小学生を横断歩道まで誘導してくれている	商店街(県道)を通る車のスピードが速い/団地内の交通マナーが悪い
風景・自然	田園風景	のどかな風景を見ながら生活することができる	
	景色	農地や緑が多い	パチンコ屋が多い(まぶしい)

表4 宇和地区のいいところ・わるいところ

3. 地域課題の抽出

第2回、第3回の検討会では、宇和地区における地域課題を抽出する作業（ワークショップ）を行い、それら課題の解決は、個人でできることなのか、それとも地域みんなですべきことなのか、または行政等の協力がないとできないことなのかについて、仕分けしました。

「宇和地区における課題等」のまとめ（仕分け）

(1) 個人で取り組むこと

心・気持ち	行動（解決に向けた取り組み）
<ul style="list-style-type: none"> ・意識の多様化 ・宇和地区全体で一体感がない ・住みやすいはずなのに、住民意識がわりと後ろ向き（意識を変える取り組みを） ・子どものあいさつは気持ちの良い人付き合いの源泉 ・チャレンジから失敗を学ぶ ・子ども同士の付き合いが大人の付き合いになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがするあいさつを大人もする ・近所付き合いを増やす ・人間関係を密にすることからはじめる
<p>人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元民の世代が変わり、歴史や文化財などの場所を知らない ・転入者やアパート住人らの無関心 ・他地区からの居住者が多い ・地区活動に参加する人が少ない ・世代間の考え方の違いがあり、意見等の取りまとめが難しい 	

(2) 地域・地域住民で取り組むこと

地域活動	行動（解決に向けた取り組み）
<ul style="list-style-type: none"> ・今後、（地域行事などが）運営できなくなる行政区が発生する可能性が高い ・地域色のある事業が少ない ・集まる機会が増えると人がわかる ・「楽しい」イベントをすることが大事である ・住民が主体となって課題を解決するにも限界がある ・自主防災会の運営マニュアルが必要で、 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元愛を育む取り組みを行う（できれば幼少期から） ・地域への関心を高めるのが重要で小さい集まりで地域のことを話す ・小さい単位（近隣住民）での集まりを増やす ・消防団と話をしてみたい ・「自治会」がやること、「行政」がやることを役割分担する

<p>誰が何をするか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい転居者との交流がない ・昔に比べて、地区行事への参加率が悪い（同じ人が参加している） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模、小さい自治会を支援する ・行政区の再編 ・単位行政区の世帯数を 100 戸以下とする ・防災をテーマに事業をしたい ・こういう話し合いを自治会でもやる ・コロナ前のイベントはコロナが収まった後は必ず再開する ・ちょっとした交流の機会を増やす ・興味を持ってもらう活動を創る（活動資金の確保が必要） ・盆踊りは続ける ・コロナ渦でもできることから小さい交流をする ・地元単位で地元を知るフィールドワークを実施する（新規転入者向け、興味のある人）
<p>人材の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の区長がない ・地区役員のなり手が不足している ・地区の役員選出が困難になっている ・人口数に対して区入りする戸数が少ない ・地区内の人数が少なくなっているので事業の推進が難しくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっとした交流の機会を増やす ・興味を持ってもらう活動を創る（活動資金の確保が必要） ・盆踊りは続ける ・コロナ渦でもできることから小さい交流をする ・地元単位で地元を知るフィールドワークを実施する（新規転入者向け、興味のある人）
<p>公民館事業</p>	<p>行動（解決に向けた取り組み）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の知名度が低い ・公民館の存在が薄い（一般市民） ・公民館事業に参加する人が固定する ・関係する人がごく一部に限られている ・地区が多い為、公民館の存在感が薄いのではないか ・公民館の役割が明確ではない ・簡単にいろいろな体験ができるようになった ・公民館が主催である仕事内容をあまり地域に知られていないのではないか（敬老会、盆踊り、桜祭り以外の事業内容） ・公民館の事業がわかりづらいし、参加したい行事を知らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとに公民館が欲しい ・任用職員 2～3 人雇う（上宇和 1 人、その他 1 人など） ・子どもたちが集まる機会を作っていくことで、親が集まり公民館の様子が変わってくるのではないか ・「広報せいよ」みたいに、公民館だよりをカラー印刷して欲しい ・教室や講座の気軽な要望を受け付けてくれるセンターが欲しい ・誰でも講師できる環境 ・流行りのスポーツや講座を取り入れる ・子ども向け e スポーツや講座、大会を開催する ・世代別スマホ教室を開催する

社会教育団体の育成等	行動（解決に向けた取り組み）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員が減少している ・ 老人クラブの会員が減少傾向にある ・ 人員不足や会員の固定（壮年会） ・ 役員の引継ぎができない ・ 役員のなり手不足 ・ 若い会員不足 ・ 団体事務等が担えるのか不安である ・ 会員の要望が多種多様になった ・ 会員の年齢が幅広いためギャップを感じる ・ インターネットや SNS など情報を入手する手段が多くなったため、老人クラブや婦人会などに参加する人が少なくなった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員ニーズを把握する ・ 学生とコラボレーションした事業を行う ・ 団体の支援制度など体制を見直す ・ 地域ごとに入会を制度化する ・ 会の活動を周知する ・ 「老人クラブ」の名称を入会しやすいように変更する
高齢化	行動（解決に向けた取り組み）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人暮らしの方が施設に入所しても個人情報かわからない ・ 高齢者の引きこもり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独居高齢者がどこに住んでいるか把握する ・ 民生委員と区長が情報共有する ・ 声かけする ・ お年寄りのひきこもり対策を行う ・ （民生委員と自治会で）ひきこもり等、まずは現状把握と共有を行う
環境改善	行動（解決に向けた取り組み）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新四国の道の清掃活動が高齢化のため実施が難しくなっている ・ 班によっては高齢化が進み、溝掃除や草刈り等の作業が困難である ・ ごみ袋に名前を書かない ・ ゴミ出しのマナーが出来ていない ・ 地区のルールを守らない、地区民が多くなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境委員に頑張ってもらう ・ 毎月の回覧板に 1、2 事例間違えやすい分別を例示していく
行事・催し物	行動（解決に向けた取り組み）
<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントなどが少なくなっている ・ お祭りなど昔からの行事の実施が難しくなっている ・ 高齢化のため、行事への参加、役員決定で毎年問題になっている ・ 大きなイベントを開催する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源のリストアップする → 資源を活用した事業をする ・ 魅力のある事業を実施する ・ 子ども（児童生徒）の参加を促進する ・ 子どもを巻き込んだ活動を行う ・ 行事も公民館任せでなく、各役員が責任

<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少とともに年々イベント等の実施が難しくなってきたので心配している ・敬老会、盆踊りは市の大行事と思われているが、事前・事後（準備・片付け）に市の配員等協力はあるのか ・行事がマンネリ化している ・盆踊りに地域（団体）として参加するところが少ないので、どのようにしたら参加地区を増やすことができるか ・行事に対する意識が低下している ・盆踊りには各区長が事前準備、後片付けに協力しているが労力的に大変である ・運動会などに参加する人が少なくなり、区長さんなどが無理をして人員を集めていた ・イベントはしてもらうが、健康な人の参加が多いので、不自由な人に対しての行事はどうするのか 	<p>をもって対処する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制作りが重要である（役員への検討会の実施 等） ・地区の住人が若者から高齢者まで参加し、祭りなどをする ・小さい単位のイベントを実施する ・祭りを合同で開催する ・全体で無理にまとめるのではなく、個別活動で推進する ・敬老会のような大きな行事に参加できない場合が多く、2～3 区くらいで行う行事など計画してもらうともっと参加してもらえるかもしれない
<p>地域内交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によっては外部からの住人が増えて人のつながりが少なくなっている ・宇和地区を一つに運営するのは難しいのではないか ・人と人のふれあい行為が全体として少なくなっている ・世帯数が多い、地域のまとまりがない 	<p>農業や農地に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村地域において、農業者の高齢化、担い手の減少によって、地区の水路などの施設の管理維持が難しくなりつつある ・人手がいなくなっている
<p>施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会所が維持できなくなるのではないか（人口減少） ・集会所の瓦屋根の改修が必要になっている ・集会所積立金が必要か 	<p>交通の安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街を通行する車のスピードが出すぎて危険である ・目の錯覚を利用したハンプが安全なので、ハンプを増やす ・警察との連携 ・通学時間帯は車両通行禁止エリアを設ける ・事故の時地域の目が解決のヒントになった→地域の見守り強化 ・小学校下の信号について、警察が撤去する話を進めていて、自治会として反対している

(3) 行政等が主体で取り組むこと

人口減少	施設等
<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の就労、働く場所がない ・若い人が地元に戻ってこない ・中心部の人口減少 ・世帯数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・市はいろいろと建物の建て替え整備をしているが、プールの施設も整備を考えてもらいたい（更衣室等清潔感がない） ・伊賀上地区は昭和46年頃基盤整備を行ったが、半世紀経つ中で、水路、水田の老朽化によって労働のコストの上昇になり、経営の負担になりつつある ・地区内において、河川・水路等改修箇所が多い ・改修を市・県にお願いしても時間がかかっている ・未改修箇所が多くある ・若い人が集まるような施設整備（改良施設含める：プールなど） ・商店街の空き店舗を活用して「コワーキングスペース」を作れないか
<p>商業施設等</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の再編と整備（JR駅前に集める） ・企業誘致 	
<p>空き家の増加</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家問題 ・空き家活用で移住定住を促進 	
<p>農業</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・農業の魅力を高める 	
<p>子育て</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て等の制度の充実 	
<p>イベント</p>	<p>その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・わらマンモス前（岩木）を子どもの遊び場に整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の取り組みをもっと周知してほしい ・行政は各団体に活動資金を支出すること ・ゴミの分別について、転入時に市職員が説明する

4. 地域課題の分析

多くの地域課題のうち、「地域・地域住民で取り組むこと」が、宇和地区のまちづくりの中心的な課題となると考え、重要性（緊急性）と、実現にかかる時間（労力）を評価し、課題を整理する作業を行いました。その結果は、下記の表5にまとめました。

	すぐに取り組める (1年程度)			すぐに取り組める (2~5年程度)			実行できるまで待つ (5年以上)	
優先的に	子どもがする あいさつを大人もする	近所付き合いを増やす	人間関係を密にすることからはじめる	地元愛を育む取り組みを行う	高齢者のひきこもり対策を行う	防災をテーマに事業をする		
	話し合いを自治会(行政区単位)でもする	老人会、壮年会などの会員ニーズを把握する	自治会や各種団体の活動を周知する	児童の見守りができる地区にする				
	独居高齢者がどこに住んでいるか把握する	民生委員と区長が情報共有を図る	ゴミ出しのマナーを向上させるため、毎月の回覧板に1,2事例間違えやすい分別を例示していく	地域資源をリストアップする →資源を活用した事業を行う	子どもたちが集まる機会を作っていく →親が集まり公民館の様子を変えていく	「自治会」がやること、「行政」がやることを役割分担する		
状況を見ながら	消防団と話したい	世代別スマホ教室をしたい	行政の取り組みをもっと周知するよう要望する	興味を持ってもらう活動を作る	団体の支援制度など体制を見直す	学生とコラボレーションした事業を行う	行政区を再編する	集会所の整備計画書を作成する
	公民館だよりをカラー印刷するよう要望する	各団体に活動資金を支出するよう行政に要望する	子ども向けeスポーツや講座、大会を開催する	地元単位で地元を知るフィールドワークを実施する	「老人クラブ」の名称を入会しやすいように変更する		地域ごとに自治会の入会を制度化する	遊具を設置する
	活動センターの事業の中で、流行りのスポーツや講座を取り入れる							
余力があれば							単位行政区の世帯数を100戸以下とする	地区ごとに公民館を整備する

表5 地域・地域住民で取り組むこと（マトリックス）

地域づくり活動センターに移行の後、優先的かつ1年程度ですぐに取り組めることから検討を進めていきたいと考えています。

第3章 基本構想

1 基本構想（宇和地区が目指す将来像）

地域課題を抽出し、分析する中で、これからも安心して暮らすことができる「宇和地区」としていくためには、大小様々な課題を解決していかなければならないことが分かりました。

個人で解決できる課題もありますが、個人でできる活動には限界があります。住民同士が協力して課題を解決し、魅力的なまちを目指していくために、共通の価値観、発想のよりどころを明らかにした基本構想をキャッチフレーズとして次のとおり決めました。

（1）キャッチフレーズ

第2期地域づくり計画においても、第1期及び第2期地域づくり計画で掲げていたキャッチフレーズ「夢を育むまち～和・輪・うわ～（夢、それは明日への希望／夢、それはみんなの願い／夢、それはかなえるもの）」を継承します。

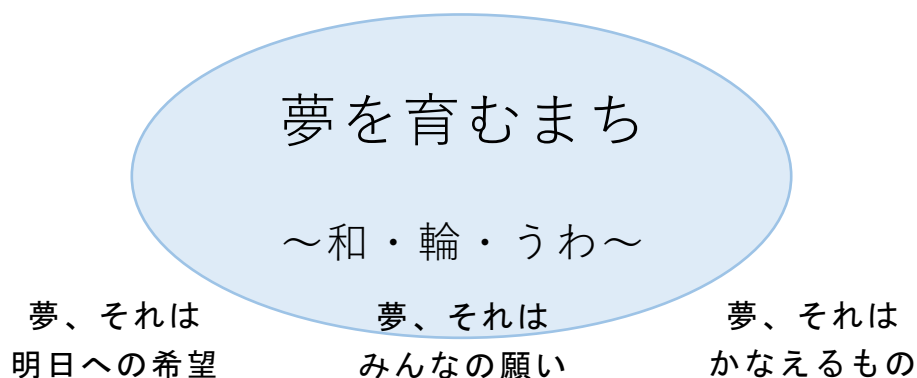


図1 キャッチフレーズ

地域課題の解決を考えることはつまらない（消極的に感じる）こともありますが、夢を考えることは心がワクワクして楽しい（積極的に感じる）と思います。宇和地区の住民が描く夢は様々です。様々な夢が育つ宇和地区、住民が和・輪になり、宇和地区のまちづくり、地域づくりを推進していきます。

2 基本計画と実施計画

基本構想に基づき、今後、宇和地区（宇和地域づくり活動センターや宇和地域づくり協議会）が取り組む必要がある事業を体系的にまとめるため、次のとおり基本計画と実施計画を定めます。

なお、基本計画は、第2期地域づくり計画の基本方針（図2のとおり）を継承します。

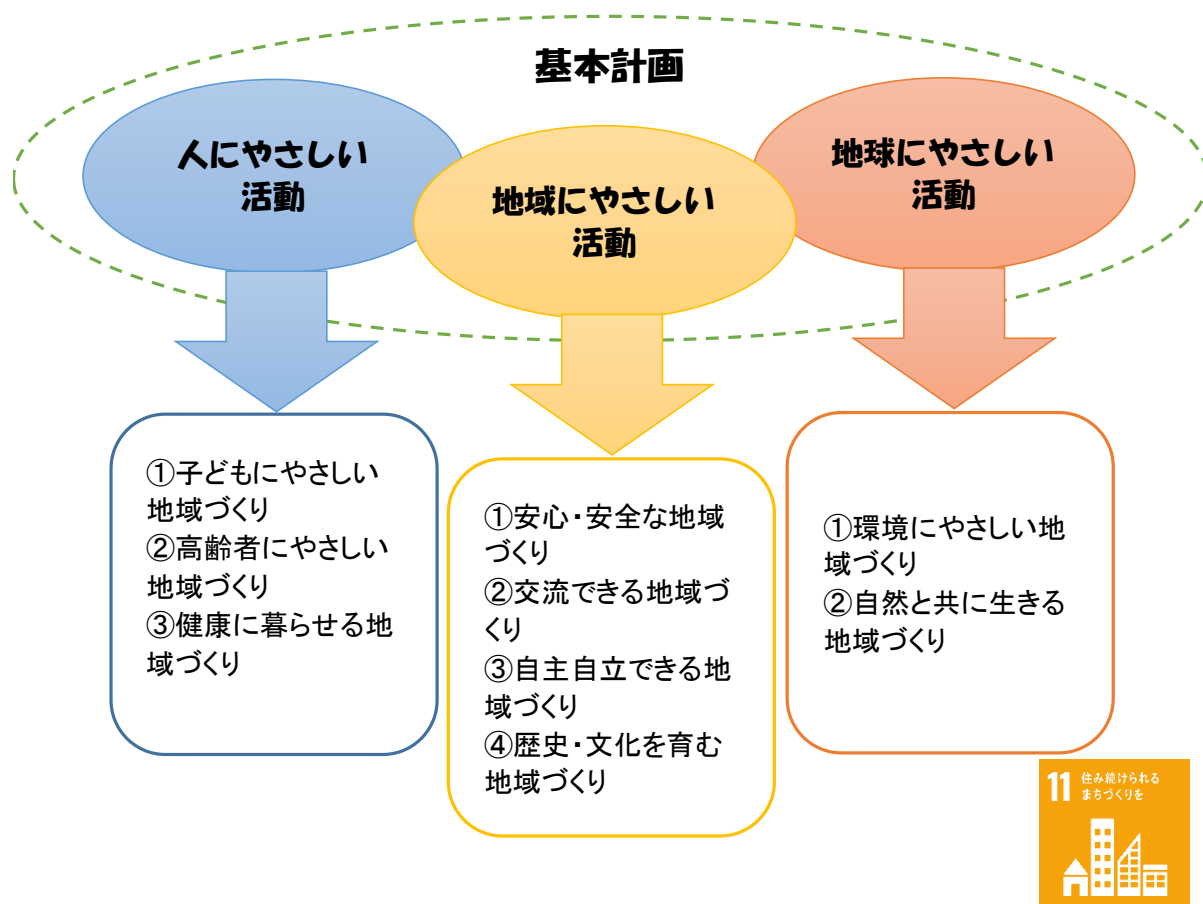


図2 基本計画

(1)基本計画1 人にやさしい活動

宇和地区は、先人たちにより守られてきた豊かな自然、歴史と文化に恵まれ、平成16年に合併して誕生した西予市の中心地として、市内で最も多い人口を有する地区です。人口が多いということは、暮らしやすい地区ということも言えます。次代を担う子どもたちへの支援、孤立しやすい高齢者の支援、住民が健康に暮らしていけるための活動を実施することにより、地区人口の維持を図りながら、宇和地区に住んでよかったと思う人を増やしていきます。

【実施計画（事業）・時期】

①子どもにやさしい地域づくり

▼【継続】子ども健やか育成支援事業（平成28年度～）

- ・卯之町幼稚園、宇和保育園、うわまち未来子ども園、宇和町小学校の運営に必要な備品等の整備

②高齢者にやさしい地域づくり

▼【新規】高齢者支え合い事業（令和5年度～）

- ・独居高齢者の実態把握と引きこもり対策
- ・区長及び民生委員との情報共有の促進

③健康に暮らせる地域づくり

▼【新規】健康づくり推進事業（令和5年度～）

- ・世代間が交流できる健康づくり事業の実施

(2)基本計画2 地域にやさしい活動

宇和地区においても、高齢化や核家族化が進行し、新型コロナウイルス感染症による生活の変化が重なり、地域のつながりが薄れ、近所に住む住民の顔が分からない、困った時に相談できないといった問題が発生しています。

また、区長をはじめ、地区の運営に必要な担い手がないといった課題を抱えていますが、地域を活性化するためには、特定の個人の力だけでは不十分です。

そこで、地域において、人と人とのつながりづくりや、住民同士の顔が見える関係づくりを進めるとともに、近年多発する自然災害や南海トラフ巨大地震などに備えるため、住民同士がお互いに助け合い、時には意見をぶつかりあわせて、明るく、元気に、安心・安全に暮らすことができる宇和地区を目指します。

【実施計画（事業）・時期】

①安心・安全な地域づくり

▼【新規】地域安心・安全対策事業（令和5年度～）

- ・防犯灯のLED化
- ・防災物品等の整備

②交流できる地域づくり

▼【継続】地域イベント支援事業（平成28年度～）

▼【継続】コミュニティ施設整備事業（平成28年度～）

▼【新規】地域づくり活動センター連携事業（令和5年度～）

- ・eスポーツ大会や体験講座などの実施
- ・デジタルデバイド是正のための事業（高齢者スマホ教室など）実施
- ・大学生（愛媛大学地域協働センター南予）とのコラボレーション事業やフィールドワークの実施

③自主自立できる地域づくり

▼【継続】協議会運営事業（平成28年度～）

▼【新規】老壮婦団体活動支援事業（令和5年度～）

- ・宇和松寿会、宇和壮年会、宇和婦人会に対する活動支援

▼【新規】協議会支部運営事業（令和5年度～）

- ・卯之町、鬼窪、伊賀上、上宇和、各支部で取り組む事業

④みんなで歴史・文化を育む地域づくり

▼【継続】伝統文化継承事業（平成28年度～）

▼【新規】伝統文化施設等整備事業（令和5年度～）

- ・祭礼等に必要な備品等の整備

(3) 基本計画3 地球にやさしい活動

世界に目を向けると、地球温暖化に伴う異常気象、農地や山林の荒廃などの様々な環境問題が取りざたされており、国連では、持続可能な開発目標（SDGs）を定め、貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指しています。

私たちの住む宇和地区は、周囲を山で囲まれた宇和盆地に位置していますが、農地や山林では放棄地が増えつつあり、地区内の里道をはじめ、松葉城や黒瀬城の登山ルート、新四国の道などは、地域住民の手で何とか維持管理できているような状況です。そこで、宇和地区に残る美しい環境を守り、持続可能な方法で将来に受け継いでいくことを目指します。

【実施計画（事業）・時期】

①環境に優しい地域づくり

▼【新規】地域環境美化事業（令和4年度～）

※「地域環境美化活動事業」と「地域環境美化設備整備事業」を統合

②自然と共に生きる地域づくり

▼【新規】自然環境共生型事業（令和4年度～）

※「花いっぱい運動事業」と「田園ロマンの里づくり事業」、「③資源守る地域づくり」を統合

3 組織・推進体制

(1) 現在の組織体制

現在、宇和地区には、「宇和地区団体連絡協議会」、「宇和地区社会福祉協議会」、「宇和地域づくり協議会」、合わせて3つの団体があり、地区における地域づくり活動の主体的役割を担っています。

① 宇和地区団体連絡協議会

ア. 会について

宇和地区団体連絡協議会は、昭和58年に設立し、地区内の区長、社会教育団体等の長、小学校、愛護班などの代表で構成し、宇和地区盆踊り大会や敬老会などを主催、運営しています。

イ. 役員（理事）構成

代表区長、社会教育委員、スポーツ推進委員、公民館運営審議委員、松寿会、壮年会、婦人会、商工会宇和支部、小学校、小学校PTA、愛護班

② 宇和地区社会福祉協議会

ア. 会について

宇和地区社会福祉協議会は、昭和60年に設立し、区長、社会教育団体等の長、民生委員、福祉施設の代表者などで構成し、地域福祉活動を実施しています。

イ. 役員構成

代表区長、民生児童委員、社会教育委員、公民館運営審議委員、松寿会、壮年会、婦人会、商工会青年部宇和支部、青少年補導委員、希望の森、松葉学園、デイサービスセンター

③ 宇和地域づくり協議会

ア. 会について

宇和地域づくり協議会は、平成23年度に設立し、年に1回、定期総会を開き、役員の変更、予算の承認等を行います。図3のとおり、地域住民（区長）で構成する組織で、本会の下に4つの支部（卯之町、鬼窪、伊賀上、上宇和）を設置しています。各支部長、副支部長ら8名が本会の役員に選任され、事務局は、各支部に1名ずつ配置、そのうち1名が本部の会計の責任者にもなっています。このほか、市職員が地域担当職員に任命され、宇和公民館、西予市まちづくり推進課職員とともに、宇和地域づくり協議会の運営がスムーズに行えるよう支援しています。

イ. 役員構成

代表区長、副代表区長、商工会、小学校

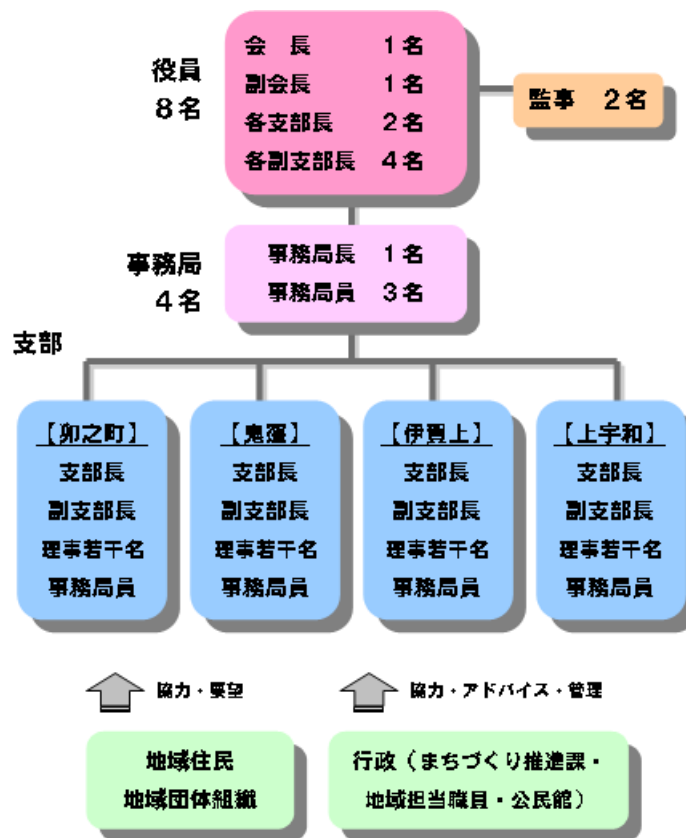


図3 現在の宇和地域づくり協議会の組織図

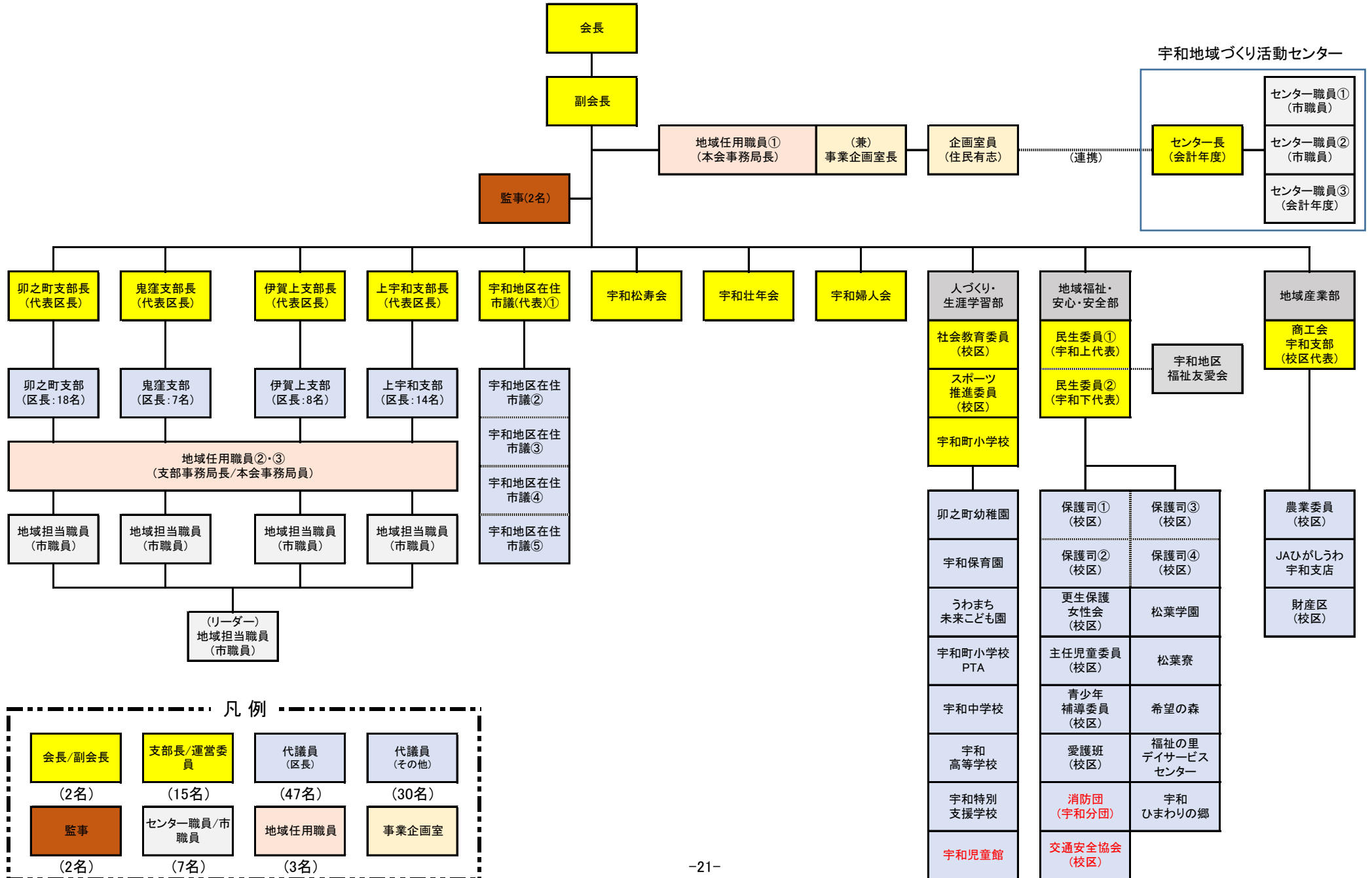
(2) 今後の組織体制

「宇和地区団体連絡協議会」、「宇和地区社会福祉協議会」、「宇和地域づくり協議会」は、それぞれの会の活動方針、目的、役員構成はほぼ同じであることから、公民館の地域づくり活動センター移行に合わせて、組織体制を見直しすることにします。

具体的には、令和5年3月31日付で、「宇和地区団体連絡協議会」ならびに「宇和地区社会福祉協議会」を解散し、両協議会を「宇和地域づくり協議会」に統合します。「宇和地域づくり協議会」が、「せいよ地域づくり交付金」の受け皿になっており、地域づくり活動センターの事業に関して主体的な役割を担うことが期待されていることなどが主な理由です。統合後の役員（理事）構成については、団体連絡協議会の役員構成をベースとして、図4のとおりになります。

組織体制の見直しにより、地域づくり活動の全体像を把握することができ、効率的かつ効果的な事業の推進が期待できるとともに、区長をはじめ関係団体の代表者の負担軽減にもつながります。

(新)宇和地域づくり協議会 組織図(案)



(3) 新組織における活動計画（アクションプラン）

新しい組織において、具体的にどのような活動を進めていくのか、道標となる活動計画は下記のとおりにします。

なお、この計画は、短期計画（1年更新）として位置づけ、急激な社会情勢や地域の変化に対して、臨機応変に対応できるように、毎年度当初に必要な応じて見直しを行います。

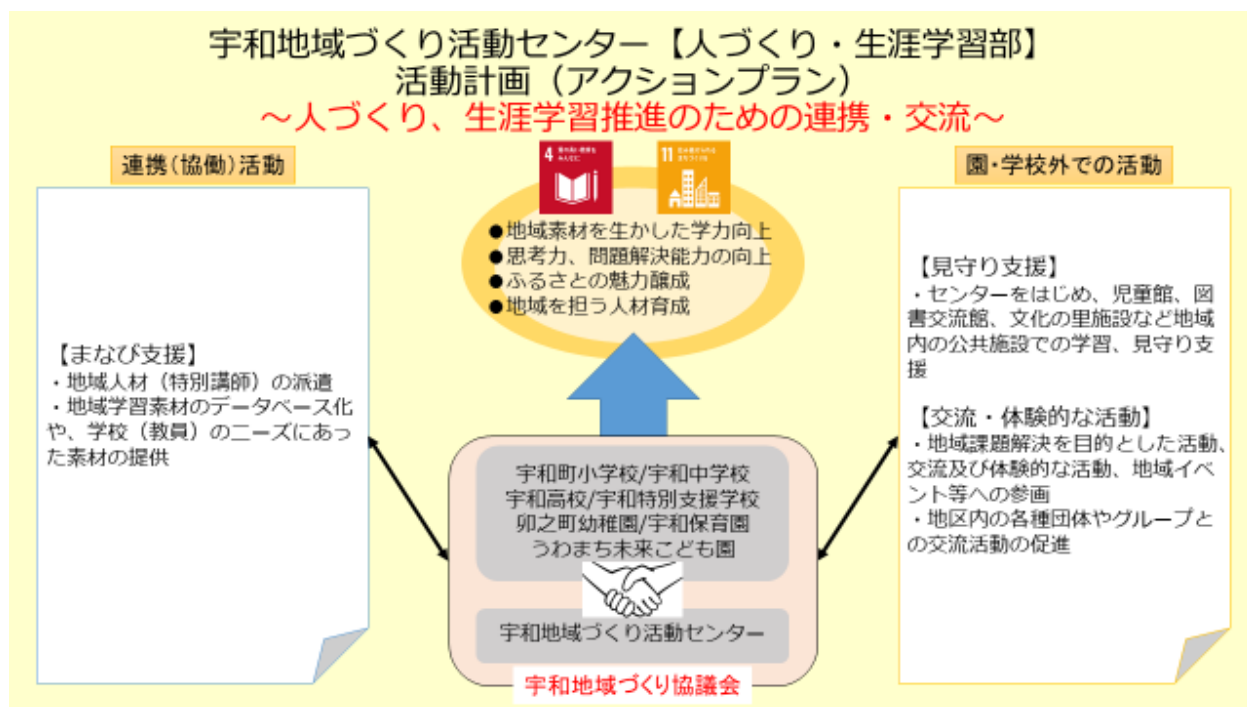


図5 人づくり・生涯学習部の活動計画

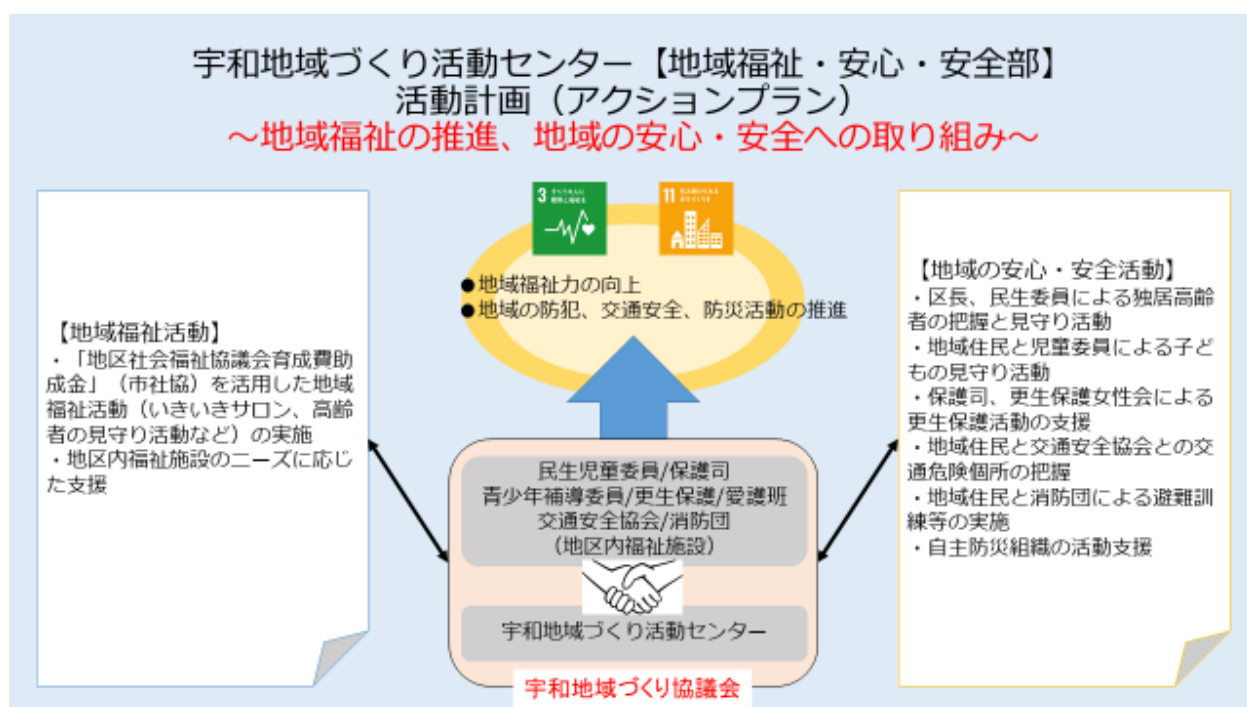


図6 地域福祉・安心・安全部の活動計画

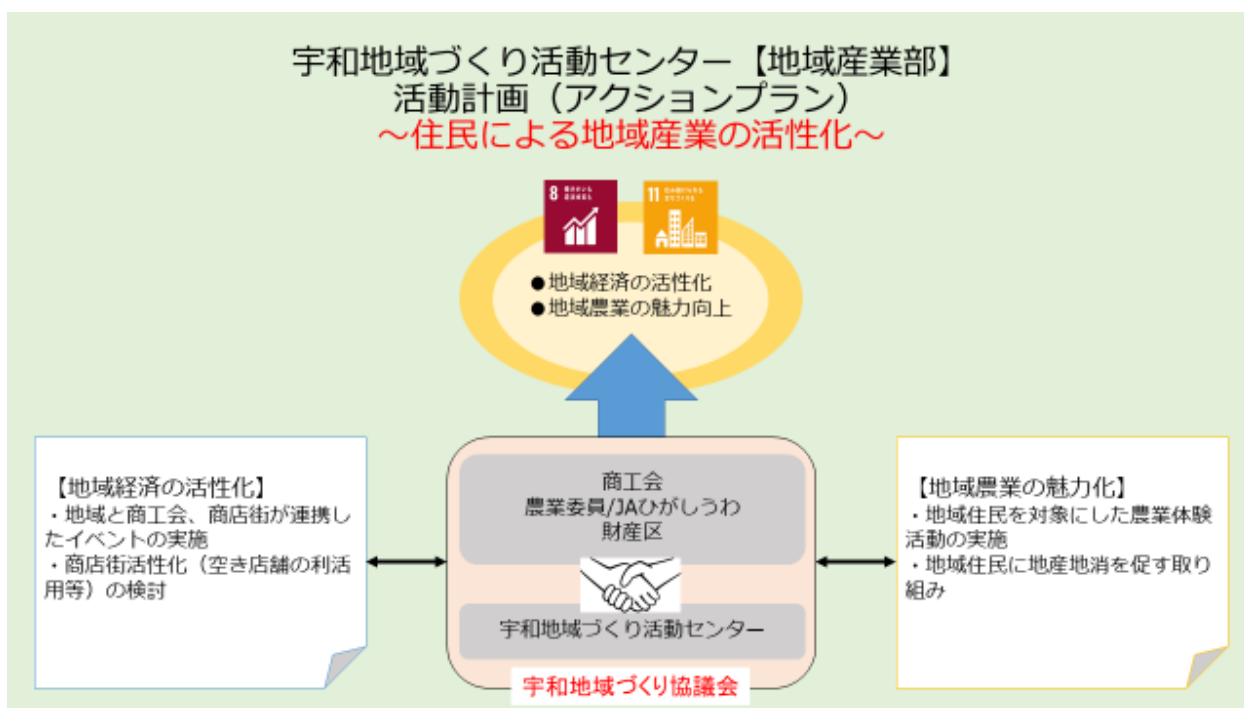


図 7 地域産業部の活動計画

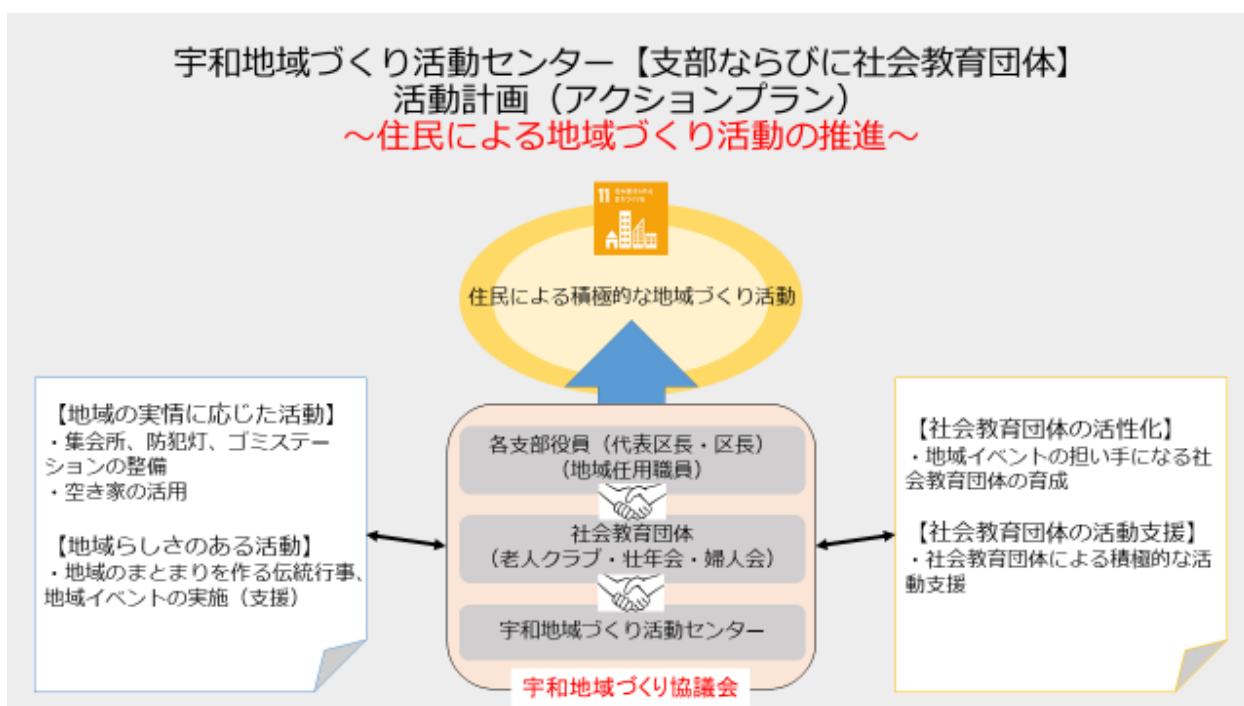


図 8 支部ならびに社会教育団体の活動計画

4 計画の実現に向けて

宇和地域づくり協議会ならびに宇和地区地域づくり活動センター検討会では、10年後の未来を念頭に、私たちが住む地域・ふるさとで、誰が何をなすべきかを考えるため、地域課題を洗い出し、課題解決のための道筋を考えてきました。

西予市の人口は、平成16年の合併から約12,000人減少し、2060年には11,816人で、現人口の約3分の1になると推測されています。そのうち15～29歳は、655人（現在約2,700人）と示され、市の将来に極めて厳しい現実が突き付けられています。65歳以上が人口に占める割合を示す高齢化率は40%を超え、「人口減少・超高齢化」の流れは、今後さらに加速します。

地域であたり前になっていた行事やイベントは、担い手不足でなくなり、住民同士が集まる機会がないことで、つながり、コミュニティが失われてしまう悪循環に陥ります。人口が急激に回復することが見込めない中で、世代関係なく住民一人ひとりが、今この時に危機感を持ち、地域・ふるさとを守るために何をなすべきか、考えられるきっかけになるよう思いをこめてこの計画書を作成しました。

では、計画書に沿って活動していけばいいのでしょうか。残念ながら特効薬はありません。それでも現状を変えようとする思いが積み重なれば、未来を変えることはできるのではないのでしょうか。

西予市や宇和地区の未来は、私たち一人ひとりの未来の集合体です。そして、私たち自身や子どもたちの未来でもあります。それは、私たち自身が考え、行動しなければ何も変わりません。社会のシステムや地域の習わしを変えるためには一定の時間を要しますが、少しずつでも変わっていけば、何十年か先には大きな変化になります。

「自分たちの地域は、は自分たちの手で」を合言葉に、今一度、自分たちの地域のことを真剣に考え、よりよい地域を創っていこうではありませんか。自分たちのことだけでなく、小さな子どもたちが幸せになれるよう、かつて先人たちが残してくれた遺産のように、我々も未来に豊かなふるさと「宇和」を残していきましょう。

【参考資料】

1 宇和地区地域づくり活動センター検討会 委員名簿

	所 属	氏 名	備 考
1	宇和地域づくり協議会	大塚 宏志	会長
2		河野 敏	副会長（卯之町地区代表区長）
3		水関 英臣	副会長（鬼窪地区代表区長）
4		渡辺 勝史	副会長（伊賀上地区代表区長）
5		木村 久一	副会長（上宇和地区代表区長）
6		二宮 兼雄	事務局長
7	宇和松寿会	和家 康治 楠 忠義	（令和4年3月まで） （令和4年4月から）
8	宇和壮年会	竹内 克之	
9	宇和婦人会	門多 千恵	
10	宇和公民館運営審議会	山本 万里子	
11	西予市議会議員	源 正樹	宇和地区在住議員代表
12	宇和公民館（館長）	水口 隆 岩本 明定	（令和4年3月まで） （令和4年4月から）

【事務局】

	宇和公民館	田中 康晴	
		番正 寛治 河野 温	（令和4年3月まで） （令和4年4月から）
	宇和地区地域担当職員	井上 一善	
		稲田 行寛	
		竹田 哲志	
		井上 誠教	
		河野 温 野本 伸治	（令和4年3月まで） （令和4年4月から）

2 検討会の実施内容

(1) 第1回検討会

日時	令和4年2月21日（月曜日）午後7時から
場所	市教育保健センター4階大ホール
内容 (意見)	(1) 委員長および副委員長の選定について → 委員長に大塚宏志さん、副委員長に水口隆さんを選出 (2) 経過報告 → 事務局から検討会設置の経緯などを報告 (3) 今後の進め方について → 事務局から今後の検討の進め方について説明し、委員幹との意見交換を行った。 → 今後検討していく項目を下記のとおり確認 1. 活動拠点の確認 2. センターで取り組む事業の検討 3. センター長、地域任用職員の選考 4. 組織体制、団体の取扱い

(2) 第2回検討会

日時	令和4年4月20日（水曜日）午後7時から
場所	市教育保健センター4階大ホール
内容 (意見)	(1) 宇和公民館における事業について → 事務局（宇和公民館職員）から、宇和公民館で実施している事業、関係する団体、地域行事などを説明する。 (2) 宇和地域づくり協議会における事業について → 宇和地域づくり協議会事務局から、宇和地域づくり協議会で取り組む事業などについて説明する。 (3) 宇和地域における課題把握と解決方法の検討（ワークショップ） → 宇和公民館、宇和地域づくり協議会の事業説明を受けて、事業や団体運営などを含め地域課題の把握と課題の解決方法について、2つのグループに分かれて、ワークショップ形式の意見交換を行う。

(3) 第 3 回検討会

日時	令和 4 年 5 月 19 日（木曜日）午後 6 時 30 分から
場所	市教育保健センター4 階大ホール
内容 (意見)	(1)宇和地域における課題把握と解決方法の検討（ワークショップ） →宇和公民館、宇和地域づくり協議会の事業説明を受けて、事業や団体運営などを含め地域課題の把握と課題の解決方法について、2つのグループに分かれて、ワークショップ形式の意見交換を行った。

(4) 第 4 回検討会

日時	令和 4 年 6 月 15 日（水曜日）午後 7 時から
場所	市教育保健センター4 階大ホール
内容 (意見)	(1)センター化検討事例紹介 →田之筋公民館の上甲啓一郎主事から、先行して地域任用職員を雇用し、センター化に向けた試験運用している「田之筋公民館の事例」について、説明を受けた。 (2)組織体制の見直し（案）について →事務局から、宇和地区団体連絡協議会及び宇和地区社会福祉協議会を宇和地域づくり協議会に統合した場合の組織体制の見直し案について、説明を行った。 (3)センター化検討事例や組織体制の見直しに関する意見交換（ワークショップ） →センター化検討事例（田之筋公民館の事例）、事務局からの組織体制の見直し案の説明を受けて、2つのグループに分かれて、ワークショップ形式の意見交換を行った。

(5) 第 5 回検討会

日時	令和 4 年 7 月 11 日（月曜日）午後 7 時から
場所	市教育保健センター2 階集団指導室
内容 (意見)	(1)中間報告（検討の振り返り）について →これまでの検討を振り返りながら、検討状況の整理を行った。 (2)宇和地区のいいところ、悪いところなどについて意見交換（ワークショップ） →宇和地区のいいところ、悪いところ、今後この会で検討する内容について、2つのグループに分かれて、ワークショップ形式の意見交換を行った。

(6) 第 6 回検討会

日時	令和 4 年 11 月 9 日（水曜日）午後 6 時 30 分から
場所	市教育保健センター4 階大ホール
内容 (意見)	<p>(1)新組織について →宇和地区団体連絡協議会ならびに宇和地区社会福祉協議会を廃止（宇和地域づくり協議会に統合）する方向で進める。 →役員は、宇和地区団体連絡協議会ならびに宇和地区社会福祉協議会の役員体制を概ね引き継ぐ。 →新たな役員として、消防団、交通安全協会、宇和児童館に入ってもらおうことを考えている。 →部会を作ろうとしている。協議案件によっては理事会ではなく、部会で相談した方がいいこともある。（例：西予市社会福祉協議会から宇和地区社会福祉協議会に支出される補助金の利用に関する相談など）</p> <p>(2)地域づくり活動センター長について →宇和地区内在住者からセンター長を公募する。応募がなかった場合は、公民館長、代表区長、宇和地域づくり協議会長などで協議の上、候補者を検討する。</p> <p>(3)地域任用職員について →12 月 20 日頃から 1 月末まで募集し、雇用条件等は別紙 2 のとおりで進めていく。 →雇用にあたっては、労働基準法などにに基づき、雇用契約書や労働条件通知書などを作成する必要があるため、宇和地域づくり協議会が大塚社労士事務所（卯之町 1 丁目）に業務を委託する。</p> <p>(4)地域づくり 10 ヶ年計画書について →検討会で出た意見、小学校や中学校で出た意見もまとめて、令和 5 年 3 月末までに作成する。</p> <p>(5)今後の検討会の進め方（スケジュール）について →宇和地区団体連絡協議会ならびに宇和地区社会福祉協議会の廃止（宇和地域づくり協議会に統合）を審議するため、12 月 8 日（木曜日）、宇和地区団体連絡協議会ならびに宇和地区社会福祉協議会の臨時総会を開催する。 →1 月から 2 月頃に、最終の検討会を開催する。</p>

3 各地区、関係団体等への説明

日時	場所	対象者
R4. 4. 15	文化の里休憩所	本町（卯之町地区）区長会
R4. 4. 21	市教育保健センター	宇和婦人会役員会
R4. 5. 26	市教育保健センター	宇和地区団体連絡協議会ならびに宇和地区社会福祉協議会
R4. 6. 11	伊賀上農事集会所	伊賀上地区区長会
R4. 6. 15	宇和福祉センター	鬼窪ひだまりサロン
R4. 7. 16	大本集会所	鬼窪地区区長会
R4. 7. 21	市教育保健センター	宇和壮年会役員会
R4. 8. 8	上松葉集会所	上宇和地区区長会
R4. 11. 10	文化の里休憩所	本町（卯之町地区）区長会

4 児童・生徒を対象にした地域づくり授業

「10年先、20年先の地域づくりを考えるのであれば、次代を担う子どもたちの意見を聞いてみるのはどうか」という意見を受けて、宇和町小学校の児童及び宇和中学校の生徒を対象に「まちづくり／地域づくりを考えよう」という授業（ワークショップ）を実施しました。

宇和町内の公民館職員、宇和地区の地域担当職員（市職員）が講師を務め、「見る、知る、考える」の3つのテーマを設定。卯之町駅前の新旧の写真をくらべて、まちの変化を見たり、人口の変化、市の政策を知ったり、公民館が地域づくり活動センターに変わることなどについて学習しました。

授業の後半は、ワークショップを行い、「地域のいいところ（魅力）」、「地域の直したいところ（課題）」を話しあったり、子どもが参加する、実施してほしいイベントを考えたりしました。算数や数学のように答えが必ずあるわけではないので、少し難しい授業だったと思いますが、子どもの意見、考えについては、今後のセンター運営に活かしていきます。

【実施日】

日時	場所	対象者
R4. 10. 30 R4. 11. 1	宇和町小学校	5年生、6年生
R4. 11. 25	宇和中学校	2年生

5 これからのまち（地域）づくりを考えるアンケート

(1) アンケートの目的

このアンケートは、次代を担う子どもたちの「こんなまちにしたい」とか「こんなことをしてもらいたい」などといった意見について、宇和町小学校の児童及び宇和中学校の生徒に対しておこなった結果をまとめたものであり、今後の宇和地区におけるまちづくり・地域づくりや、地域づくり活動センターで考えたい事業などに反映させることを目的としています。

(2) 調査対象

① 宇和町小学校 5～6年生：140名

② 宇和中学校 1～3年生：482名

(3) 調査方法

インターネット調査：アンケートフォーム（グーグルフォーム）に入力

(4) 調査期間

令和4年11月1日～令和4年12月23日

(5) 回答数 ※12/28時点

① 宇和町小学校 133件（回答率：95.0%）

② 宇和中学校 441件（回答率：91.5%）

(6) 調査結果の概要

① 宇和町小学校

学校以外の過ごし方について、「家族と過ごす」、「友だちと遊ぶ」を選んだ児童が多い一方、「地域の行事や活動に参加する」選んだ児童が少なかった。

また、この1年間に公民館を利用したことがあるか尋ねたところ、73%が利用したことがないと答えた。その理由としては、特に用事がなかったからが多いが、公民館がどこにあるか知らないからと答えた児童もいた。

さらに、公民館がどのようなところだったらいいか尋ねたところ、料理教室、お祭りや古くから伝わる行事、スポーツ・レクリエーション、科学教室・ものづくり教室などがあるといいと答えた児童が多かった。

② 宇和中学校

学校以外の過ごし方について、「家族と過ごす」、「友だちと遊ぶ」を選んだ生徒が多い一方、「地域の行事や活動に参加する」選んだ生徒が少なかった。

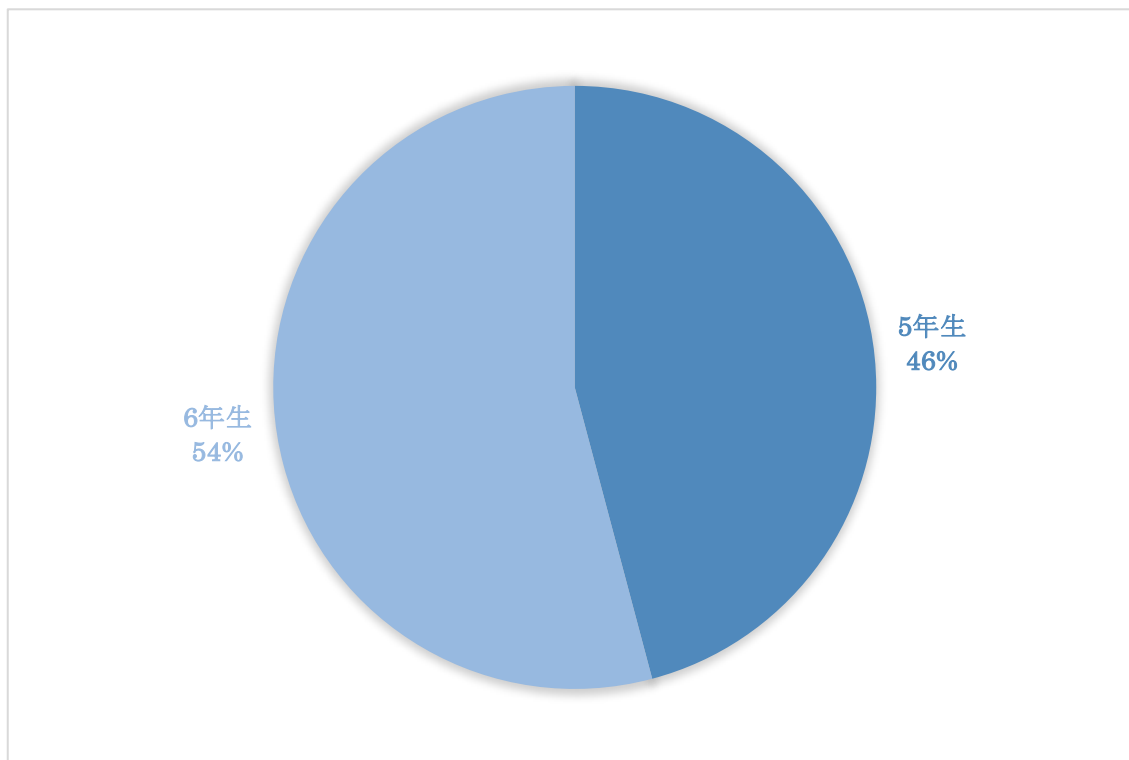
また、この1年間に地域で行われた行事やボランティア活動などに参加しているか尋ねたところ、66%が参加していると答えた。亥の子、盆踊りといった地域伝統行事、保育園でのボランティア、高齢者が集まるいきいきサロンといった地域活動に参加している生徒もいた。

(7) 調査結果（詳細）

【小学生】

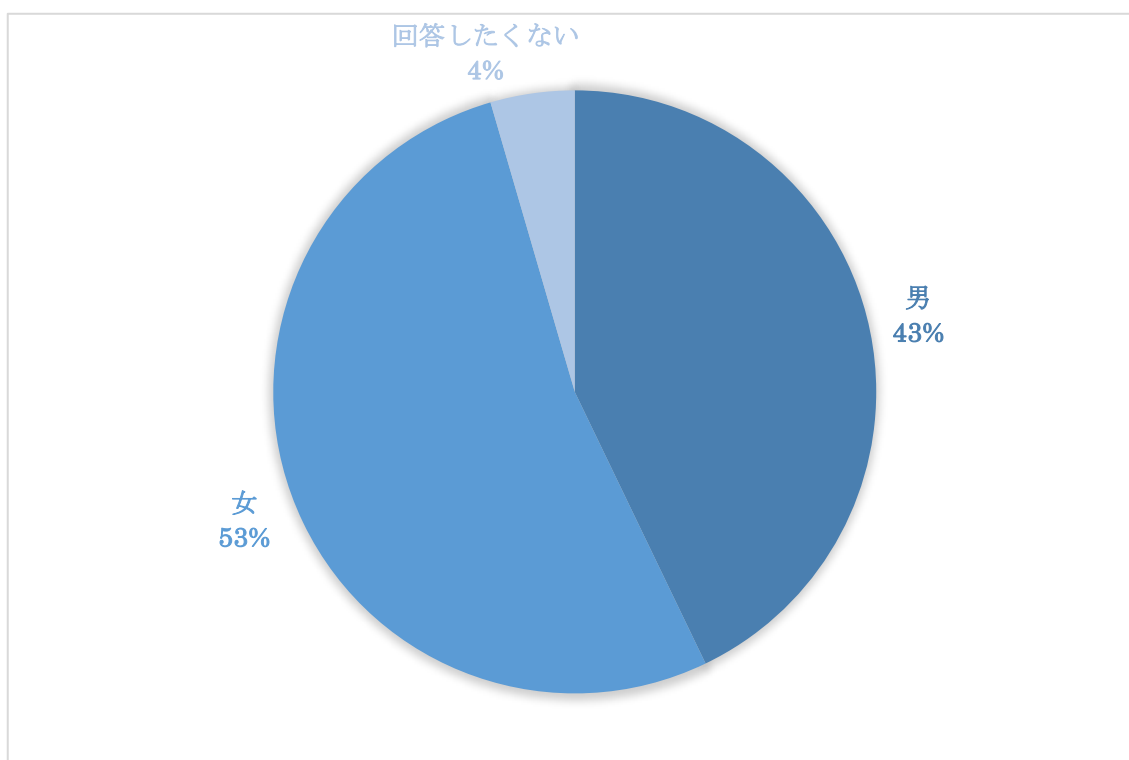
質問 1

あなたの学年を教えてください。



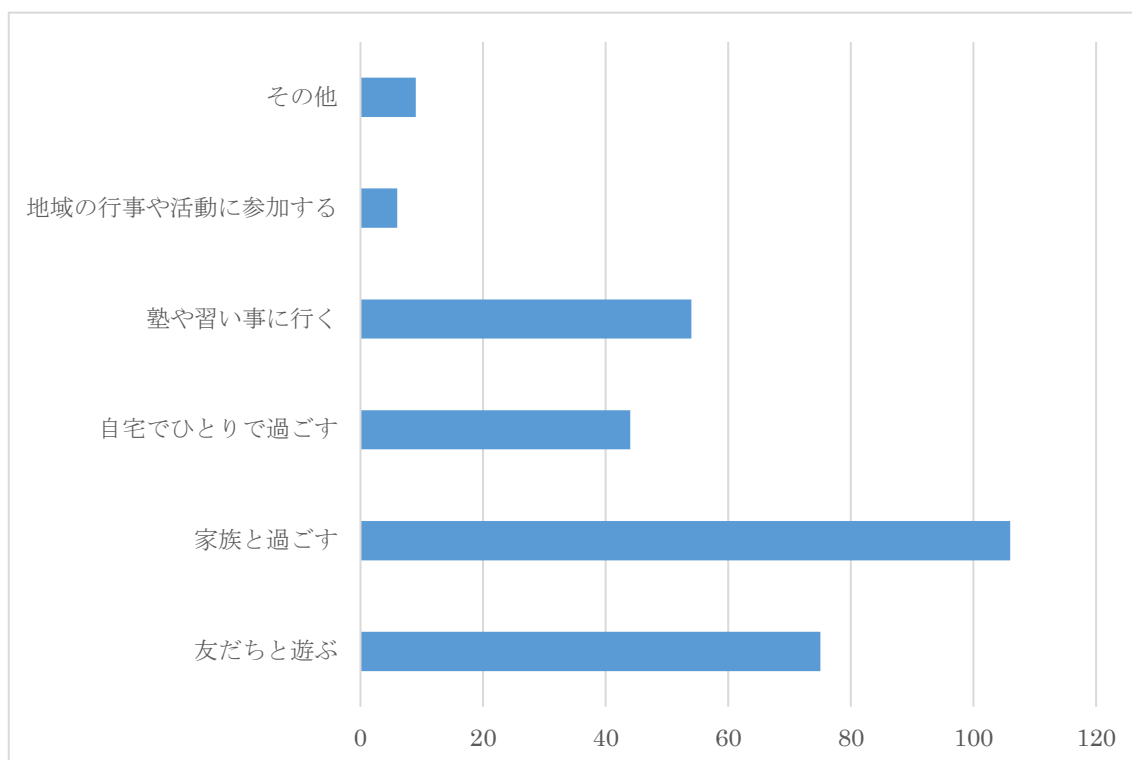
質問 2

あなたの性別を教えてください。



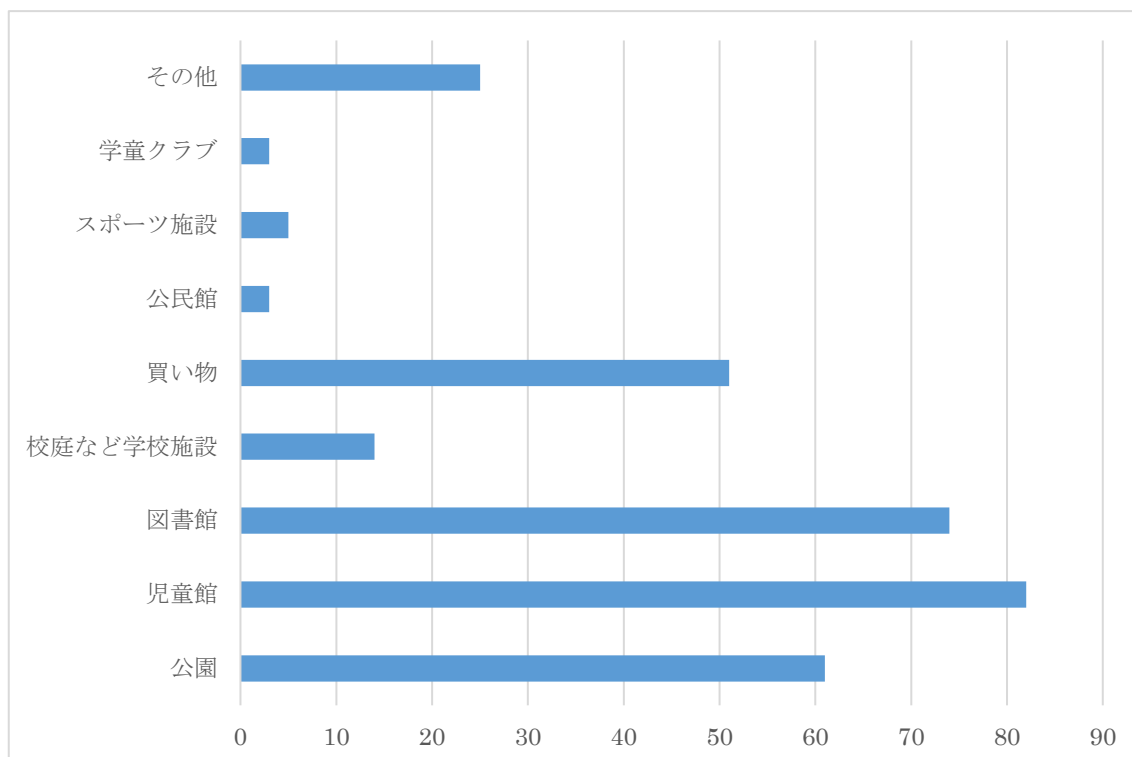
質問 3

学校以外（放課後や休日）の過ごし方について、主なものを教えてください。



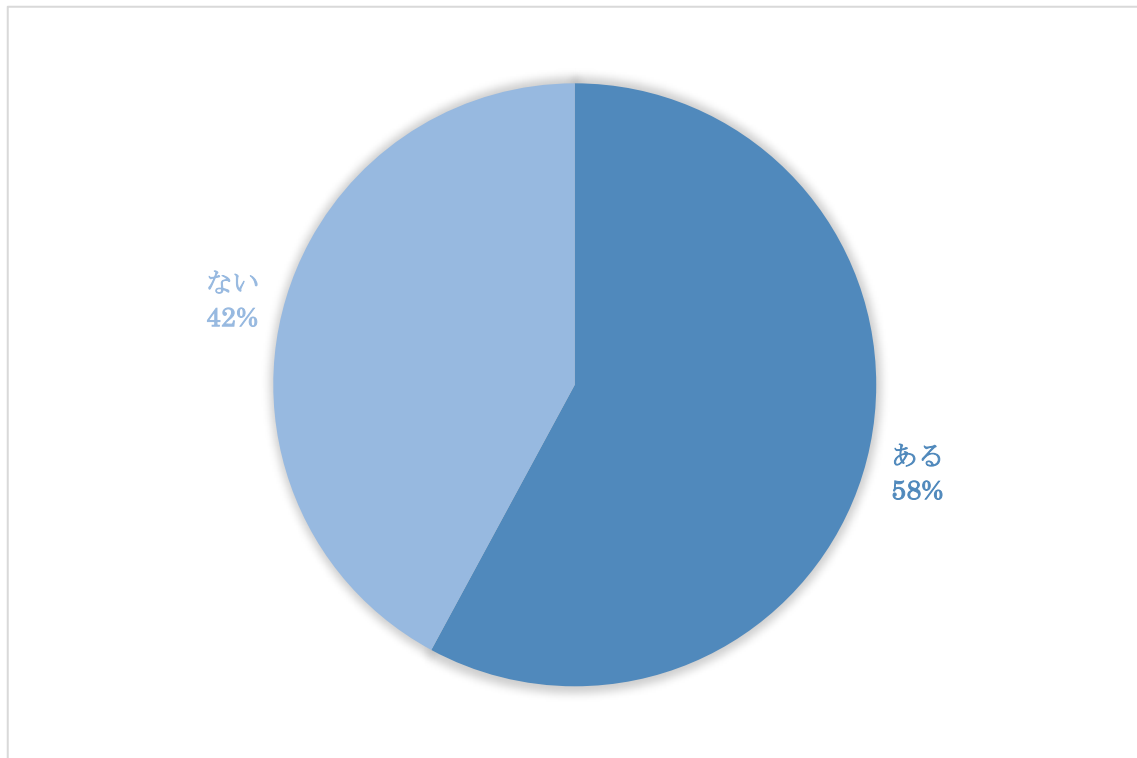
質問 4

友だちと外出するところについて、主なところを教えてください。



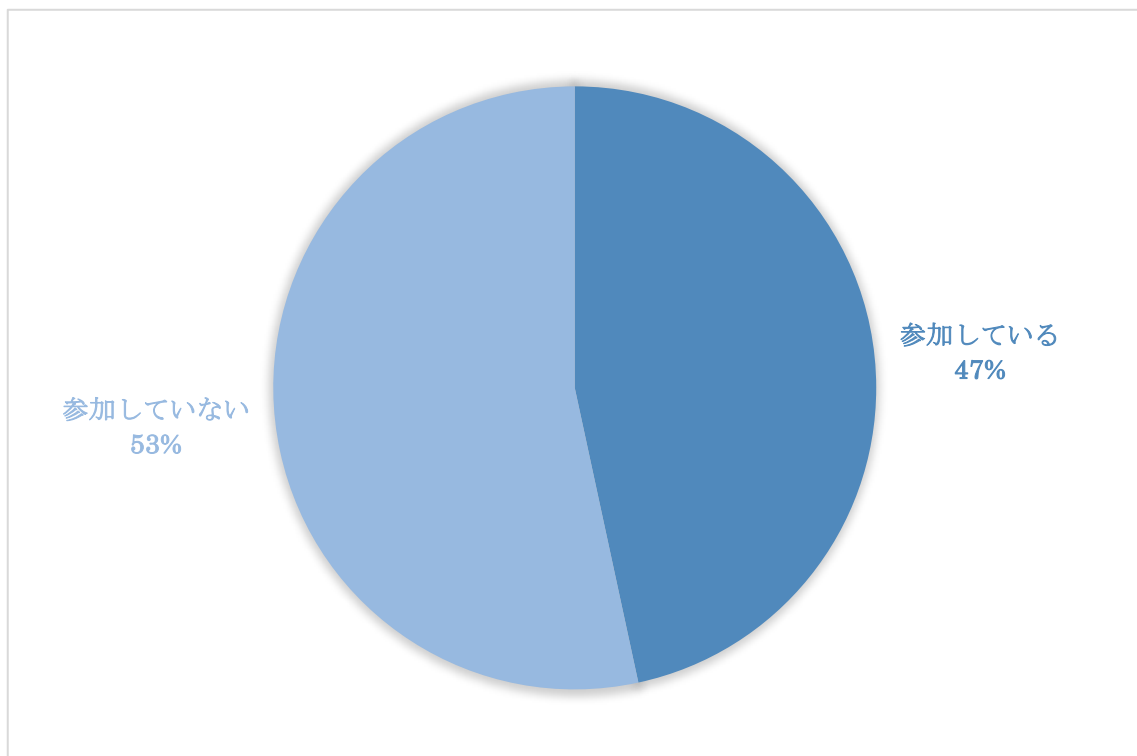
質問 5

あなたは、この1年間に、地域（市内）の山、川、海などの自然の中で、虫や草花の観察、魚とりなどの遊びをしたことがありますか。次の中から一つ選んでください。



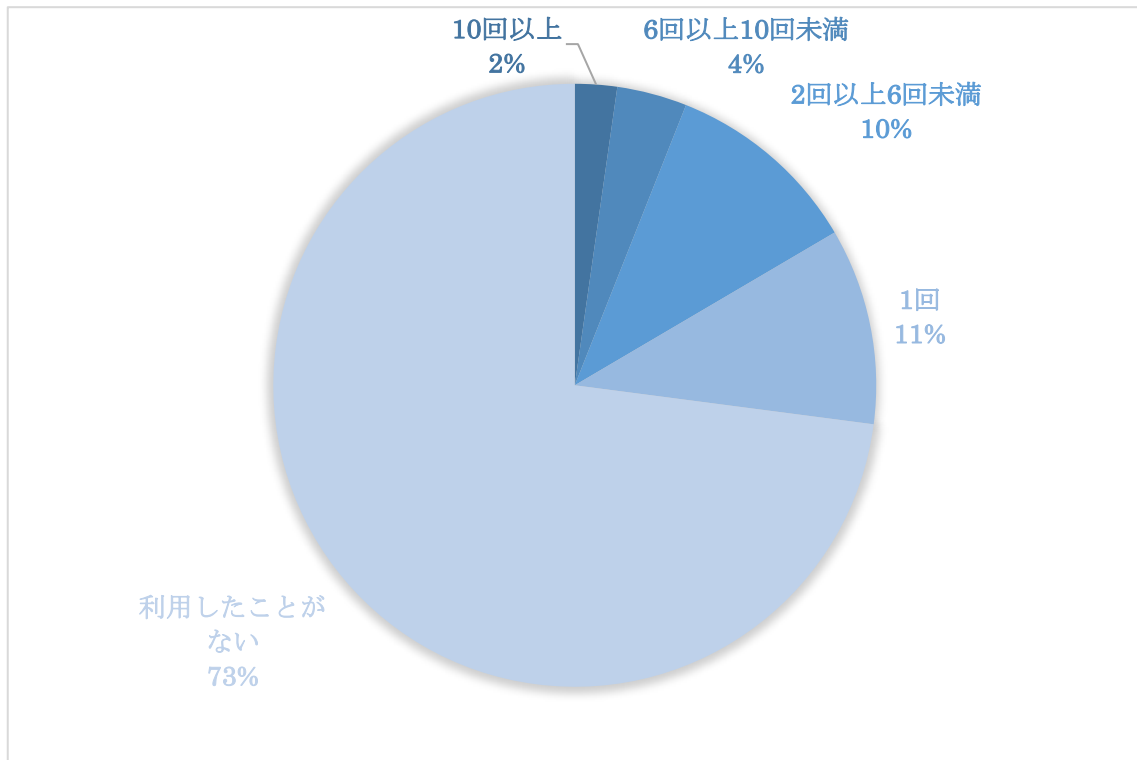
質問 6

あなたは、この1年間に、地域で行われた行事やボランティア活動などの地域行事に参加していますか。次の中から一つ選んでください。



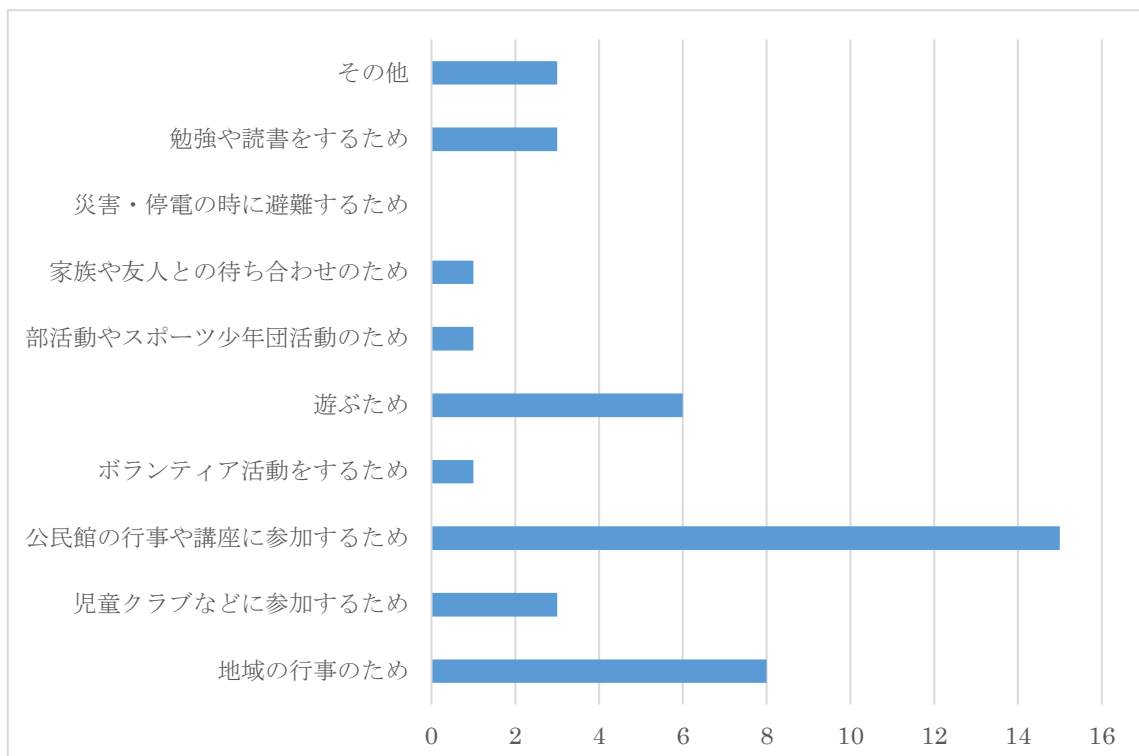
質問 7

あなたは、この1年間に公民館を利用したことがありますか。次の中から一つ選んでください。



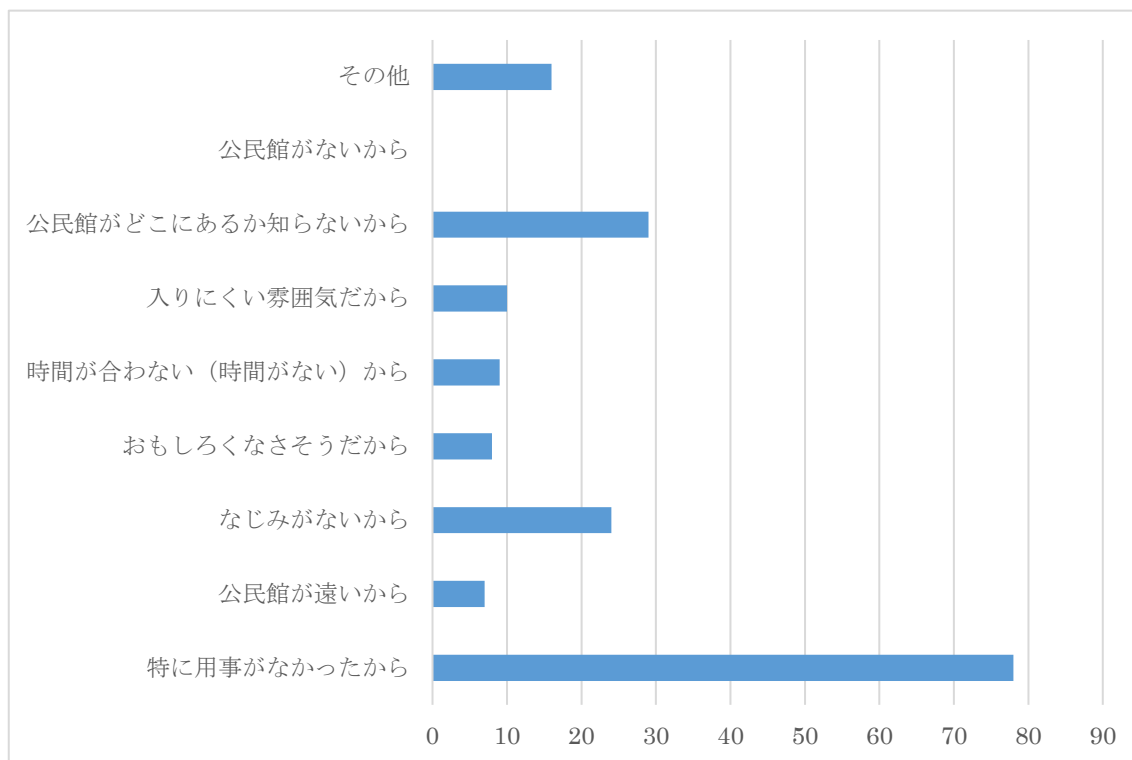
質問 8

あなたは、どのような理由で公民館を利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



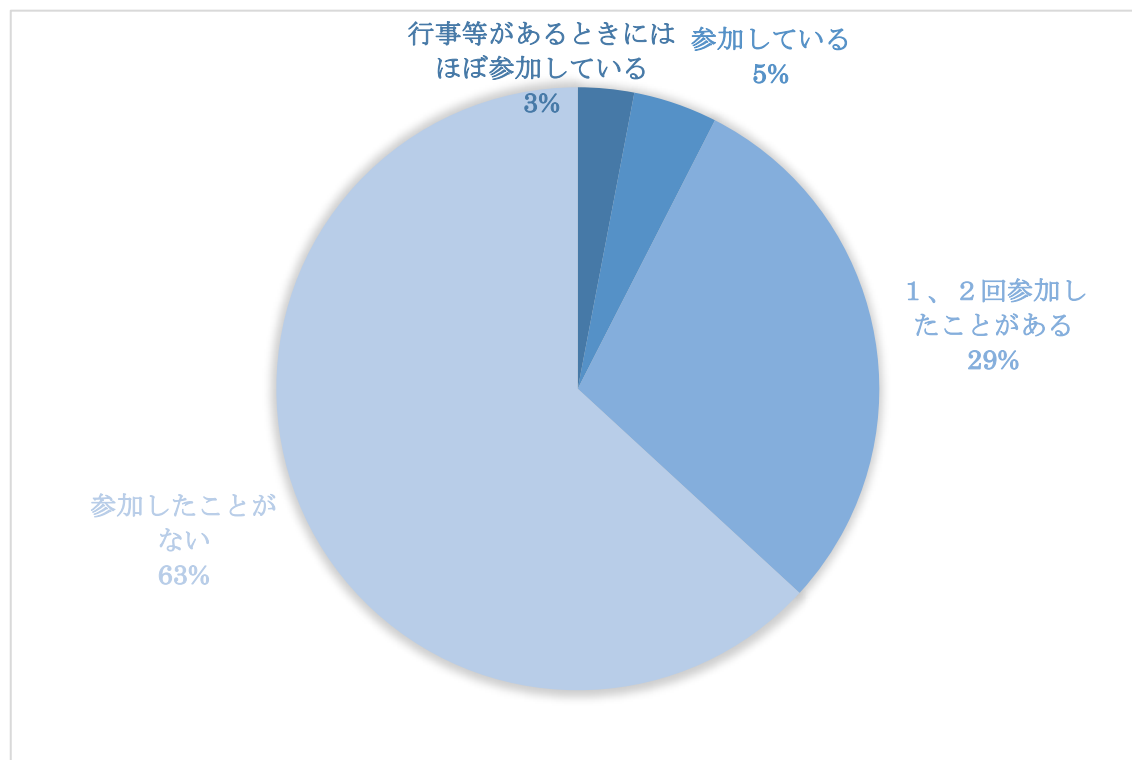
質問 9

あなたが公民館を利用したことがない理由は何ですか。



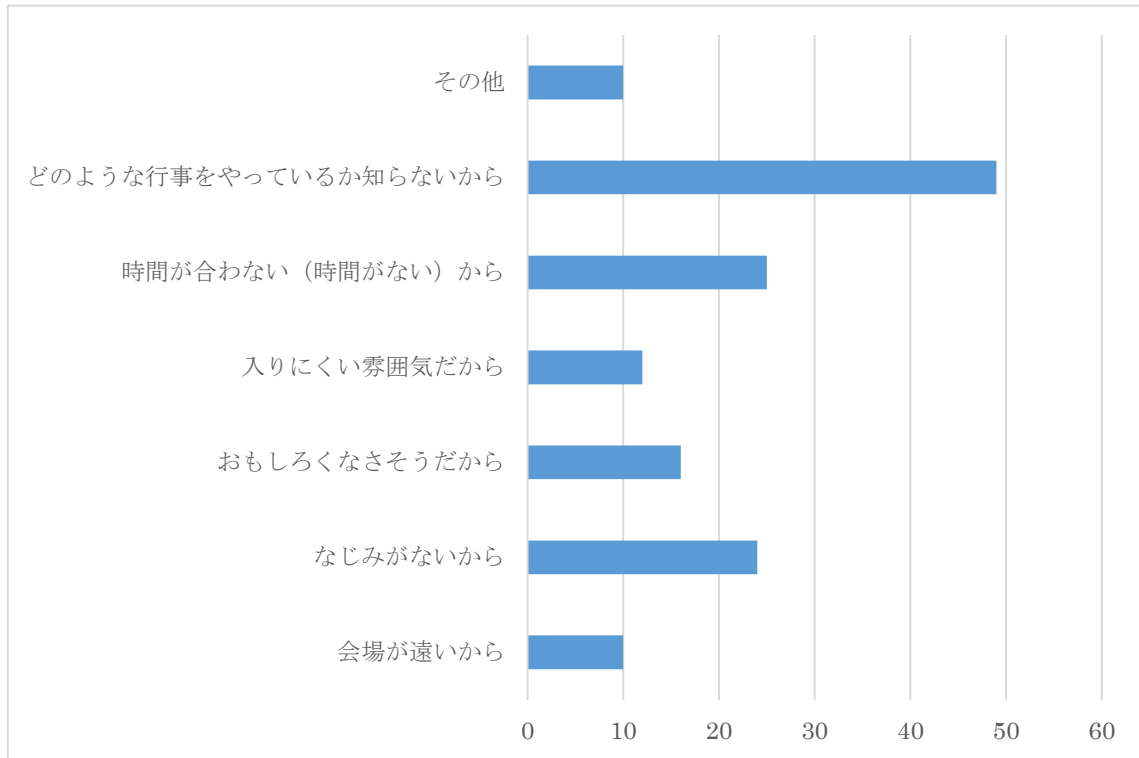
質問 10

あなたは、この1年間に公民館の行事、イベントや講座（活動）に参加したことがありますか。次の中から一つ選んでください。



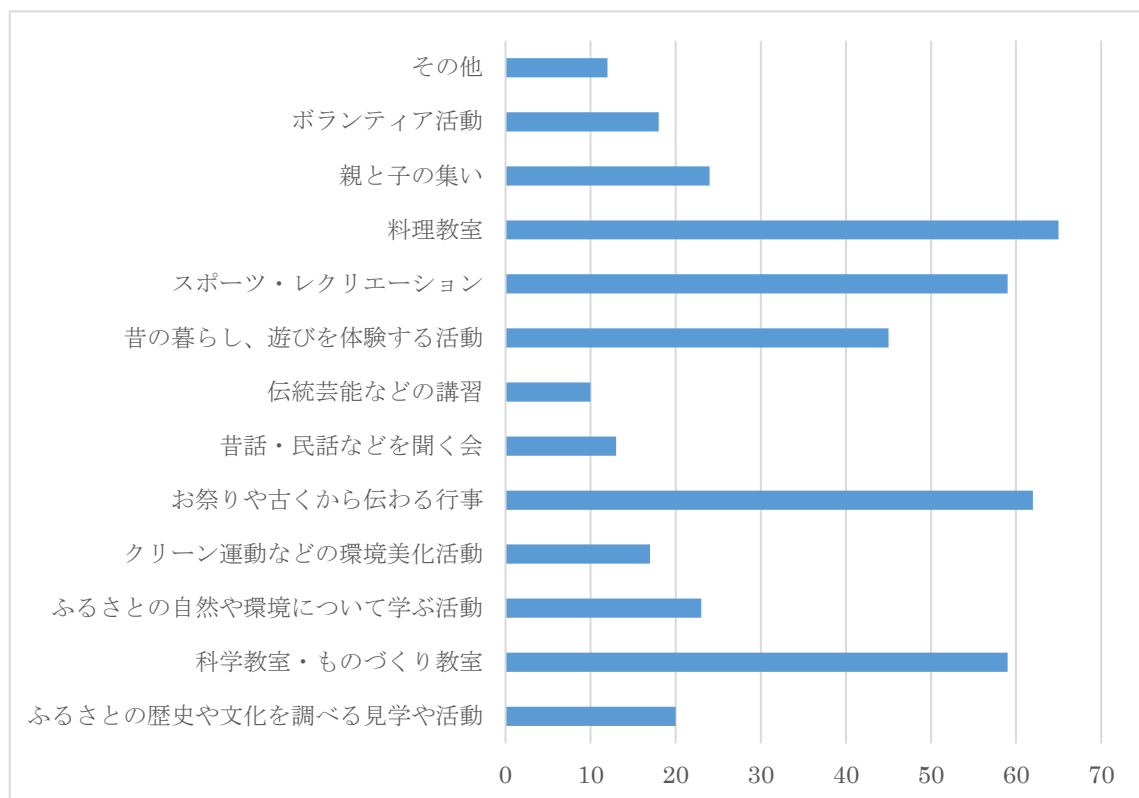
質問 1 1

その理由は何ですか。



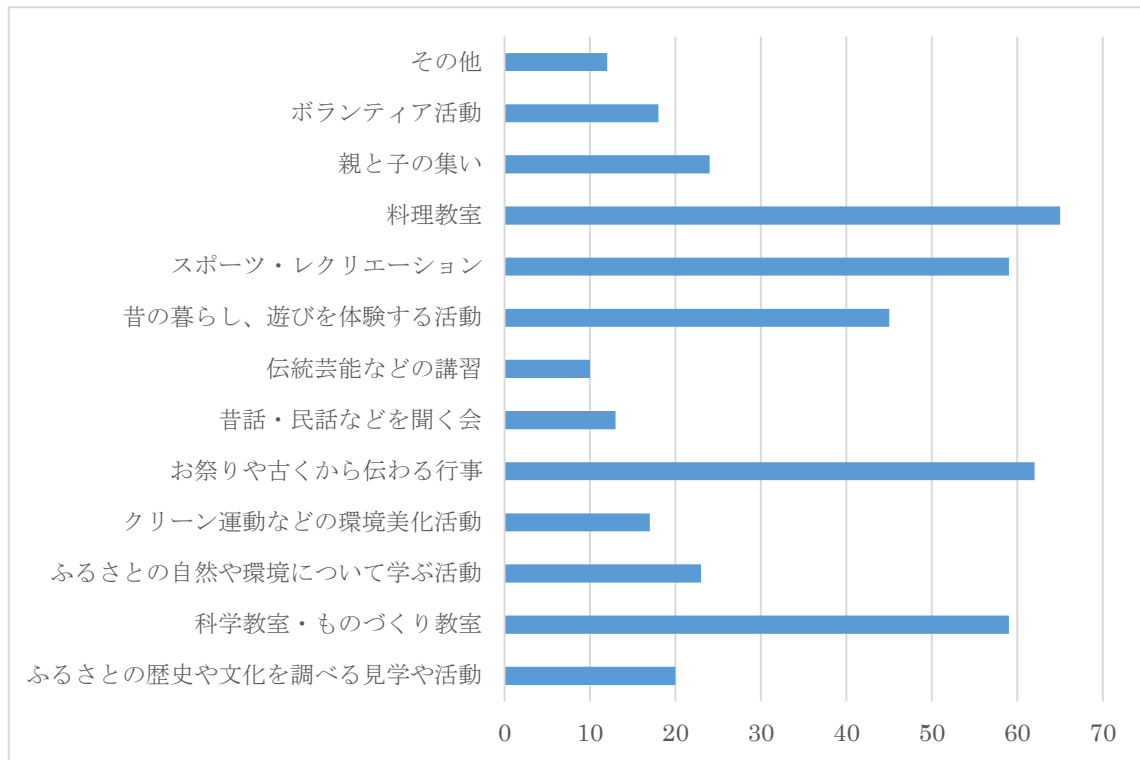
質問 1 2

あなたは、公民館がどのようなところだったらいいと思いますか。



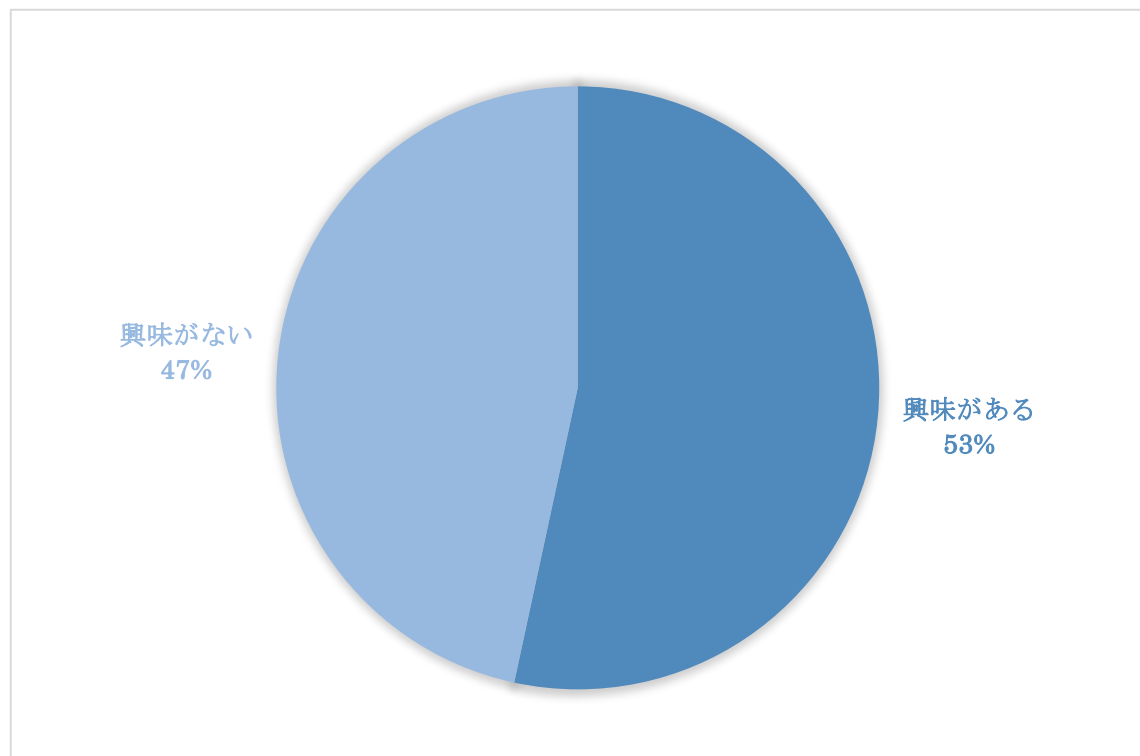
質問 1 3

あなたは、公民館でどのような行事や講座（イベント）があればいいと思いますか。



質問 1 4

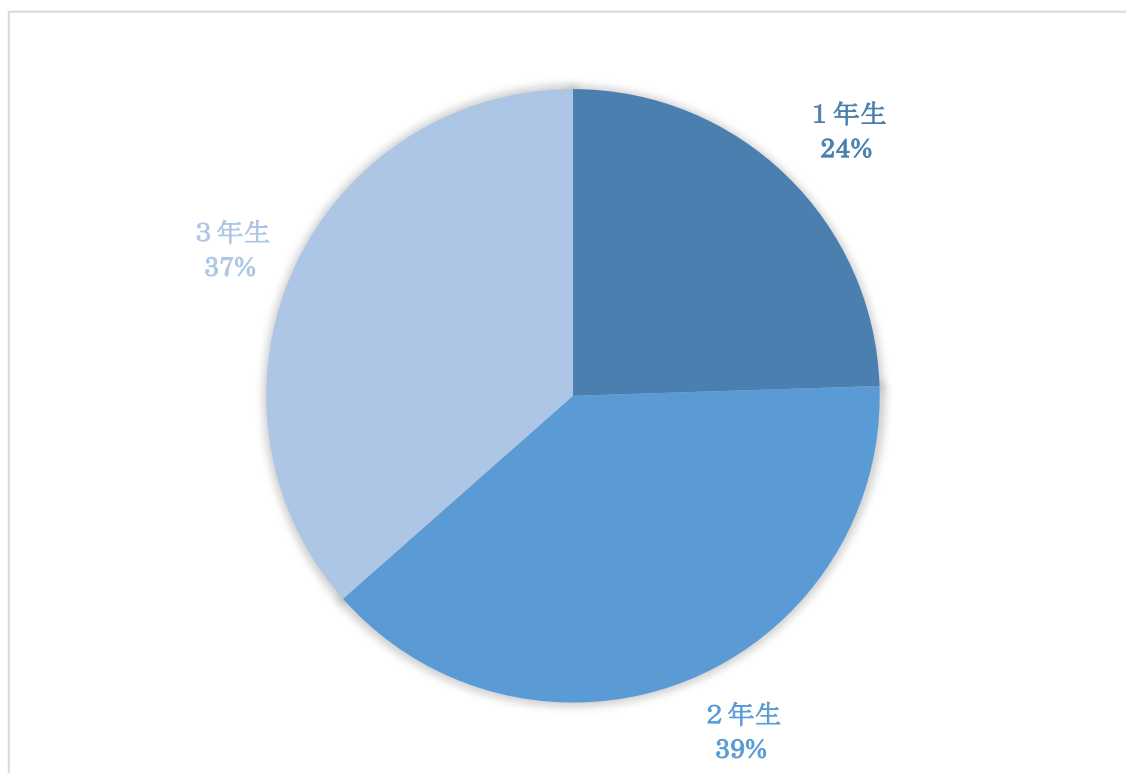
公民館（地域づくり活動センター）では、子どもと一緒に行事（イベント）を作りたいと考えています。イベントづくりに興味があるかないかを教えてください。



【中学生】

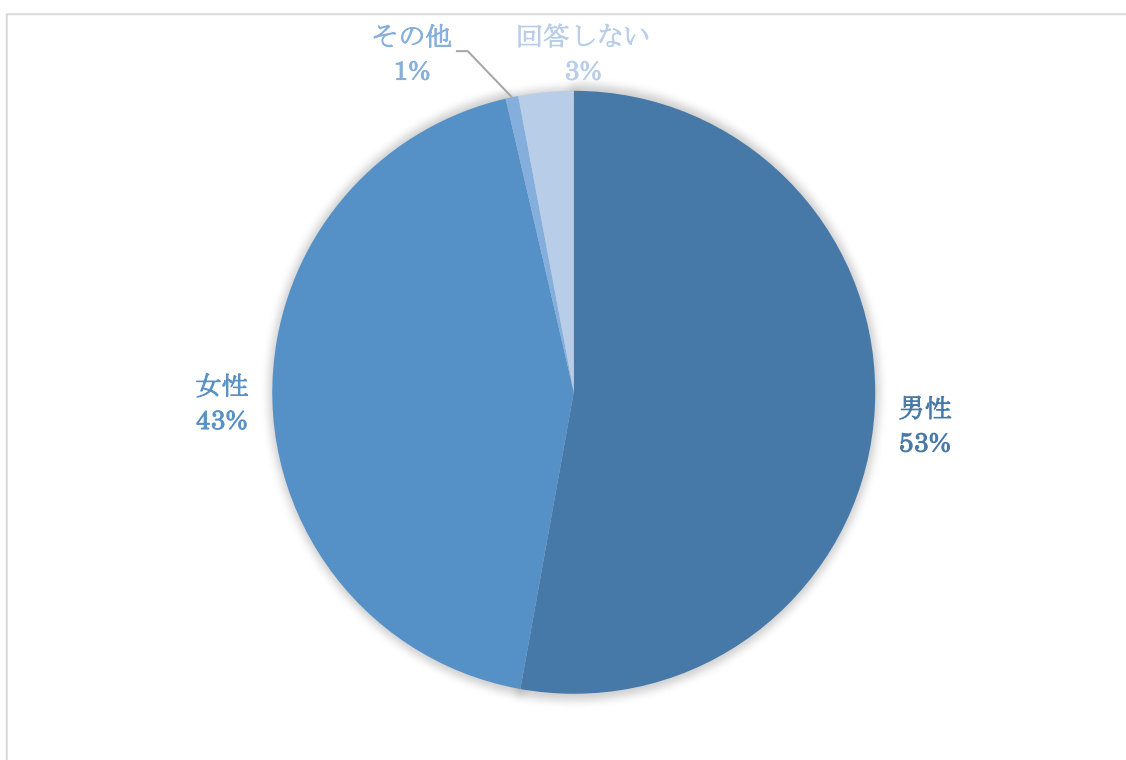
質問 1

あなたの学年を教えてください。



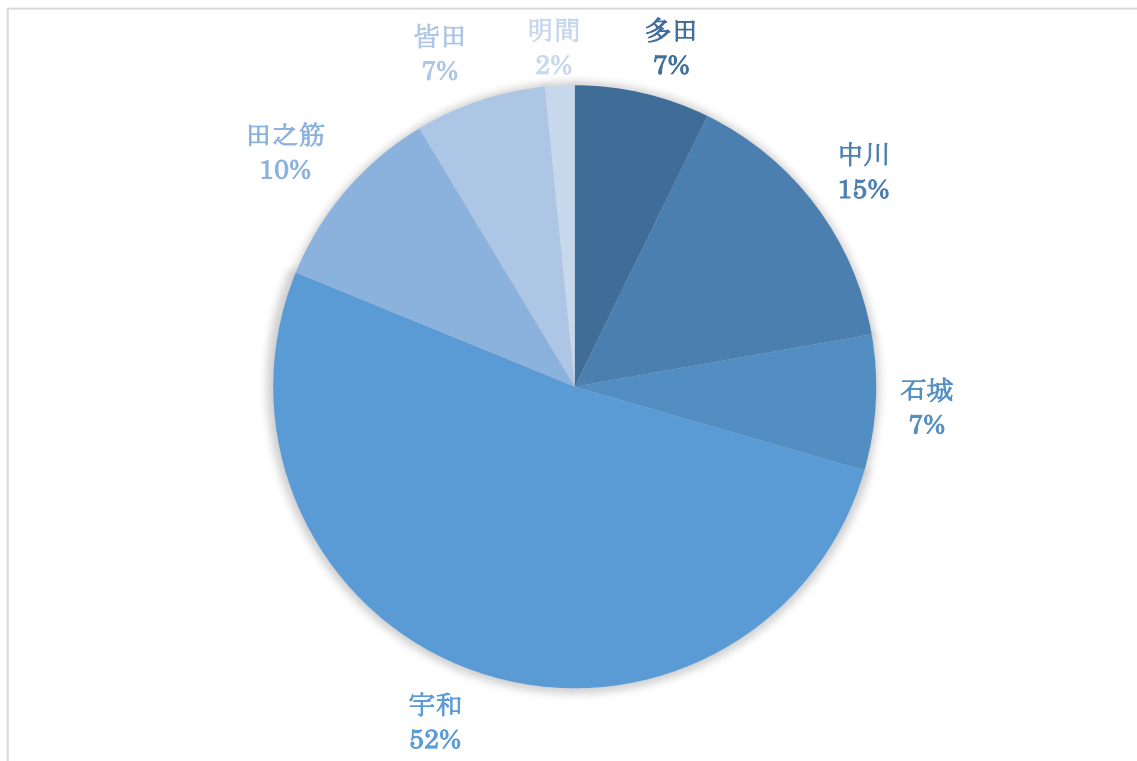
質問 2

あなたの性別を教えてください。



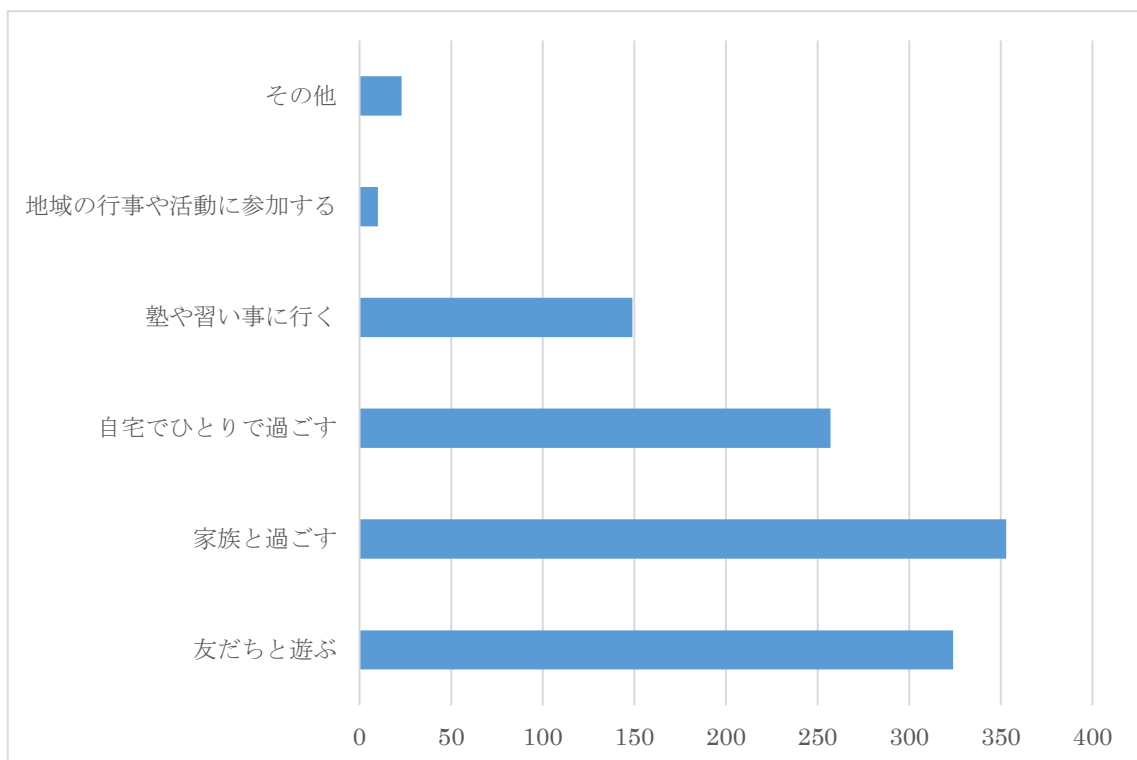
質問 3

あなたの住んでいる地域を教えてください。



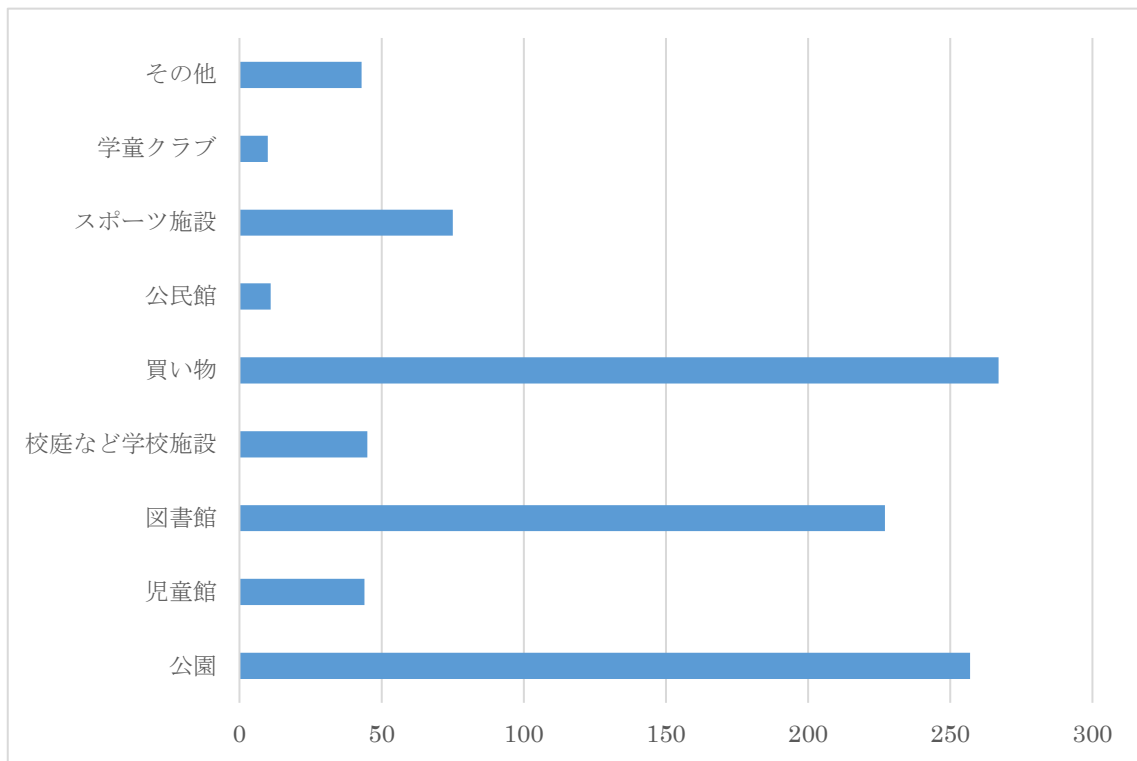
質問 4

学校以外（放課後や休日）の過ごし方について、主なものを教えてください。



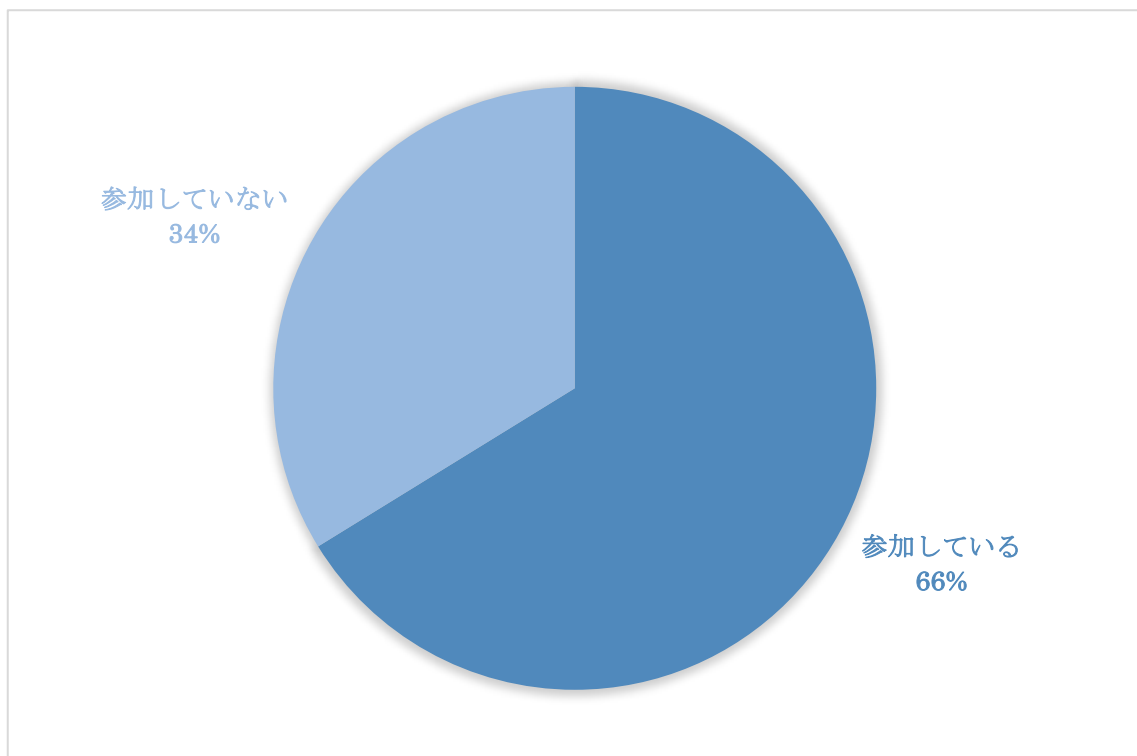
質問 5

友だちと外出するところについて教えてください。(3 つまで回答できます。)



質問 6

この 1 年間に、あなたの住んでいる地域で行われた行事やボランティア活動などに参加していますか。次の中から一つ選んでください。(地域行事の例：亥の子、お祭りなど)



質問 7

「参加している」と答えた人は、どんな行事、活動に参加していますか。また「参加していない」と答えた人はその理由を教えてください。

※回答は一部省略（抜粋）及び編集しています。

【参加したことがある行事】

- ・ 牛鬼
- ・ 亥の子
- ・ 古紙回収
- ・ 夏祭り
- ・ 秋祭り
- ・ 盆踊り
- ・ 夜市（下宇和公民館）など地域全体のお祭り
- ・ 奉仕作業
- ・ どんと焼き
- ・ 保育園でのボランティア
- ・ 田之筋マルシェ
- ・ あいさつ運動
- ・ 山登り
- ・ いきいきサロン
- ・ 花いっぱい運動

【参加していない理由】

- ・ 行事があることを知らない／行事の情報を知らなから
- ・ そもそもあるかどうか分からない
- ・ 参加する機会がない
- ・ 祭りなどを地域でしないから
- ・ 忙しいから
- ・ 亥の子は男子だけになっている
- ・ 1年前に引っ越しをしてその地域で行われている行事がわからないから
- ・ 勉強などをしていて家に一人でいる事が多いから
- ・ 習い事で参加できていない
- ・ 今参加できる行事がない
- ・ 地域でのお祭りやボランティアがない
- ・ 亥の子は、小学生までなので参加できない
- ・ 中学2、3年くらいになったら、参加できなくなるから
- ・ 行事という行事がないから
- ・ 部活で忙しかったから
- ・ 小学校の時は地域の行事に行ったけど小学生限定だから中学生になって行かなくなった

質問 8

あなたの住んでいる地域の「良いところ（魅力）」は何だと思えますか。（例：みんながあいさつする／公園が多い／近くに病院がある）

※回答は一部省略（抜粋）及び編集しています。

挨拶がいいし、活発である
危険な場所には「危険」などといった張り紙がされている
公共施設が増えている
自然豊かで、親しみやすい
地域の活動が多い
買い物などに行きやすい
空気が美味しい
地域の人優しい
本屋がある
年齢関係なくみんな仲がいい
近くに病院がある
温かい人が多く、挨拶を返してくれる
自然を大切にしている
田んぼが多い
あいさつの声大きい
立地が良い
静かなところ
近くにコンビニがある
景色がきれい
近所の人との付き合い方がうまいし、みんな仲がいい
小学校が近い
まつりの参加率が高く、年齢関係なく関わっている
交通ルールをしっかり守っている
必要な施設などがある程度ある
昔の町並みが残っている
公共施設やスーパーが多い
近くに児童館がある
畑が多い
公園が近くにある
地域全体の雰囲気がよく近所の人に挨拶したりなど仲が良い
伝統的な行事が多い
四国西予ジオパークがある
病院が多い
コンビニが多い
知らない人でも優しく話してくれる

植物が多い
近所の人達はいつも挨拶をすると返してくれる
夜空がきれい
年代関係なく関わっている
みんな元気で、礼儀が身についている
地域の人達が学生の行きや帰りを見守っている
お米が美味しい
買い物がしやすい
老人に優しい
地域同士の連携があること
テニスコートがある
近所の方との交流があること
まなびあんが近くにある
児童館がある
医療施設が充実していること
道が明るくて、帰り道が少しでも安全である
高齢の方が元気である
お年寄りの方を心配し手伝える子供が多い
「おかえり」といつてくれる
優しい、面白い、仲良くしてくれる、元気、明るい、困っていたら助けてくれる
近くにスーパーや薬局があつて暮らしやすい
近所の人と話しやすい
なにもないところ
いちごスムージーを販売しているところがある
勉強や読書ができる図書館がある
わらマンモスがある
地域の方とたくさんの行事を通して関わりを持っていること
年齢関係なく、みんなが笑顔で挨拶を交わすところ
買い物をするところが多い
近所に人に挨拶をしたら、「おかえりなさい」や「おはよう」と挨拶をちゃんと返してくれる
近くに、コンビニやスーパーがあつてすぐに行くことができる
お店が近い（多い）
地域の方たちが毎朝挨拶してくれる
人が優しい
子供が多くて元気なところ
図書館が大きい
子供がいっぱいいて、仲が良い
元気で親切な人が多い
鶴がいる

みんなが協力すること
地域の人と仲がいい
緑が沢山ある
市民みんなが明るいところ
近所の方々が優しい
花が植えてある公園がある
平和
地域とのつながりがたくさんあること
古い建物がたくさんあること
地域の人との関わりが多い
行事が多い
コンビニやスーパーが多いから、買い物に困らない
挨拶を毎日することで、地域の方から笑顔で挨拶してもらえる
新鮮・スーパーが近い
飲食店が多い
人があまりいないところ
ジオパークが近くにあること
近くに遊ぶところがある
病院に通いやすい
芝生が多くなっている
自然がたくさんある
地域の人挨拶を返してくれること
空気がいい
みんなが元気で挨拶をする
植物を大事にしているところ
挨拶の対応が優しい
すれ違ったときの挨拶
気軽に集まれる場所がある
学校のあいさつ運動が多い
地域の人が大體知り合い
地域の人温かい
優しい人が多い
心が温かい人が多い
公園が多い
古墳がたくさんある
小学校が近い
亥の子がある
サッカーができる場所がある
治安が良い
近くに駅がある

近所付き合いが良い
広い公園がある
フジやクリニックなどいろいろなところに近くて便利である
小野田は挨拶を交わす事が多く、いい雰囲気な場所だとは思う
交通が便利
水田がある
地域の方々が明るく、親切に接して下さる
出会ったら良い挨拶をする
みんな挨拶をされていてすごい街だと思った
地域全体が優しく気軽に挨拶や声をかけることができる
青パト隊があること
とても静かで住みやすい
地域の人がだいたい顔見知り
みんなが元気なところ
通りかかった人に挨拶をしたらおかえりやお疲れ様と返してくれる
挨拶をしたら挨拶を返してくれる
小学生や中学生が挨拶をしている
虫が多い
挨拶の声大きい
礼儀正しい
道の幅が広くランニングなどがしやすい
みんな賑やかなところ
仲が良い
祭りなどの行事ごとがある
色々な店がある
大人がすぐ怒る
コンビニや大きい病院がある
おもいやりがあり、挨拶ができる
外で遊べる
イベントがたくさんある

質問 9

あなたの住んでいる地域の「直したいところ（課題）」は何だと思いますか。
（例：ゴミ出しのマナーが悪い／交通ルールを守らない／子ども同士で集まる場所がない）

※回答は一部省略（抜粋）及び編集しています。

ゴミ出しのマナーが悪い

遊ぶ場所が少ないこと

子ども同士で集まる場所がない

夜道が暗い

遊びに行くところが限られている

店や公園などの公共施設が少ない

ポイ捨てが多い

街灯が少ない

信号無視が多い

挨拶を返してくれない

公園の遊具が危険だからと壊されて作り直すと言われたけど遊具のない公園になっている

観光スポットが少ない

地域全体での行事が少ない

小学生が通っては行けないところを通っている

みんなが楽しめるような施設がない

交通の便が悪い

人が集まるような楽しいお店（ショッピングモールなど）が少ない

お店が少ない（遠くには車がないと行けない人もいるから）

街灯が少なく、夜塾から帰るとき怖い

環境が保全されていない

運動するための施設がない

ゴミ袋からゴミが散乱していたので直してほしい

交通事故が多い

人の敷地にゴミを捨てている

動物を車でひいても放置して、無責任な人が多い

HSP や HSC が住みにくい

遊園地などのテーマパークが少ないこと

中学生以上の子供が遊べる場所が少ない

小中学生の交通マナーがなってない

通学路で、横断歩道の前で、生徒が渡らず話して通行車を邪魔している

平気で人の家の庭や道路にゴミを捨てる人がいる

友だちと遊べる場所がないので、どうしても図書館がたまり場になってしまっている

市全体かもしれないが、移住してくる人への勧誘活動が少ない
交通ルールを守らない
子供が少ない
あいさつをしない
公会堂でボールを使った遊びができない
あいさつの声が小さい
公園の遊具が少ない
自動車の運転が危ない
公共の交通期間のびんがほとんどない
野良猫に餌を勝手に上げている人がいる
川にごみを捨てる人がいる
近所付き合いがあまりない
子供がいるのに猛スピードで走っている車がある
時々たくさんのゴミが散らかっていることがある
信号がない横断歩道で止まってくれない
公園が少ない
たまに挨拶を返してくれない人がいる
危険な交差点が多い
横断歩道がない場所が多い
買い物するところが少ない
映画館がない
外食する場所が少ない
タバコがおちている
ボール遊びが禁止だったり、施設が小さかったりして、中学生にとっては遊べる
場所が限られている
自転車通の道が狭い
高齢化が進んでいる
古い建物が多い
遊具のたくさんある施設が少ない
横断歩道が少ない
道路が狭く、自転車で通りにくい
交通マナーが悪い
商業施設が少ない
ゴミが道に落ちていることが多い
服屋さんや文房具屋さんがない
気軽に出かけられるところがないこと
スピード出しすぎる人が多い
お店が近くにないので車を出さないと買い物に行けない
地域間での交流回数が少ない
子供や学生が遊べる場所がない

よくゴミが落ちていること
学生が楽しく遊べるところがない（ショッピングモールや服屋さんなど）
学校に地域からの苦情が多い
遊べる場所が少ない
自然の見栄えをもっと良くしたい
若い人が集まれる人が少ない
他の地域と比べ遊べるような施設がない
空き家が少し目立つので取り壊してほしい
犬の散歩をしてフンの処理をしていない
信号ギリギリで走る車が結構あって危ない
ゴミ出しのルールを守れない人がいる
カラオケなどの娯楽施設を子供だけで利用できない
歩行者が優先されない
小学生のルールを守らない人がいる
社会的マナーを守らない児童がいる
エミフルのような大きなお店がない
公共施設の使い方が悪い
交通ルールを守らない子供が多い
子供だけでカラオケしている
気温が寒い
ドラックストアが多い
公共の施設が少ない
コンビニが少ない
暗い道が多い
大人の対応が冷たい
さくら団地は家が多いので空き地が少し少なくなっている
田之筋は子供たちが外で遊べるところがほとんどない

質問 10

これからのまちづくりでこんなことをしたい、こんなことをしてほしいということを考えて、教えてください。(例：通学路を広くしてほしい／公民館を学習スペースで貸してほしい)

※回答は一部省略(抜粋)及び編集しています。

イベント(祭りなど)を増やしてほしい

通学路を広くしてほしい

遊ぶ場所を増やしてほしい

道をきれいにしてほしい

人と車がぶつからないくらい広い道を作ってほしい

商店街をもっと活性化させてほしい

もっと買い物出来るところを増やしてほしい

家の周りの街灯が少なくてもよる少し危ない

自転車用の道路を作ってほしい

運動公園にも遊具が一切ないし、もうちょっとバスケットができたり色々な遊べる場所がほしい

商店街の路肩駐車をやめてほしい

通学路をもっと安全にしてほしい

歩道など自転車と歩行者と一緒に使うところを広くしてほしい

誰でも楽しめるような施設がほしい

遊ぶところを増やしてほしい

コンビニなどの生活必需品などが買えるところを増やしてほしい

夜道が暗いので明かりを増やしてほしい

交通マナーを良くしてほしい

ショッピングモールなどの大きな施設がほしい

空き家や使っていない建物をなくしてほしい

アスレチックを作ってほしい

緑をたいせつにしてほしい

登校手段でバスがほしい

リサイクルとかの取り組みを活性化してほしい

環境に配慮したものを増やしてほしい

道路など、道の横に川があるところなどガードレールをつけてほしい

通学路で草や木が飛び出ているので直してほしい

学生の帰り道(徒歩通学)で街灯があまりない場所があるので増やしてほしい

登校中によくゴミを見かけるのでもっと改善してほしい

動物の命の重さを理解していただきたい

HSP や HSC の住みやすいまちをつかってほしい

自転車や歩行者専用の道を作ってほしい

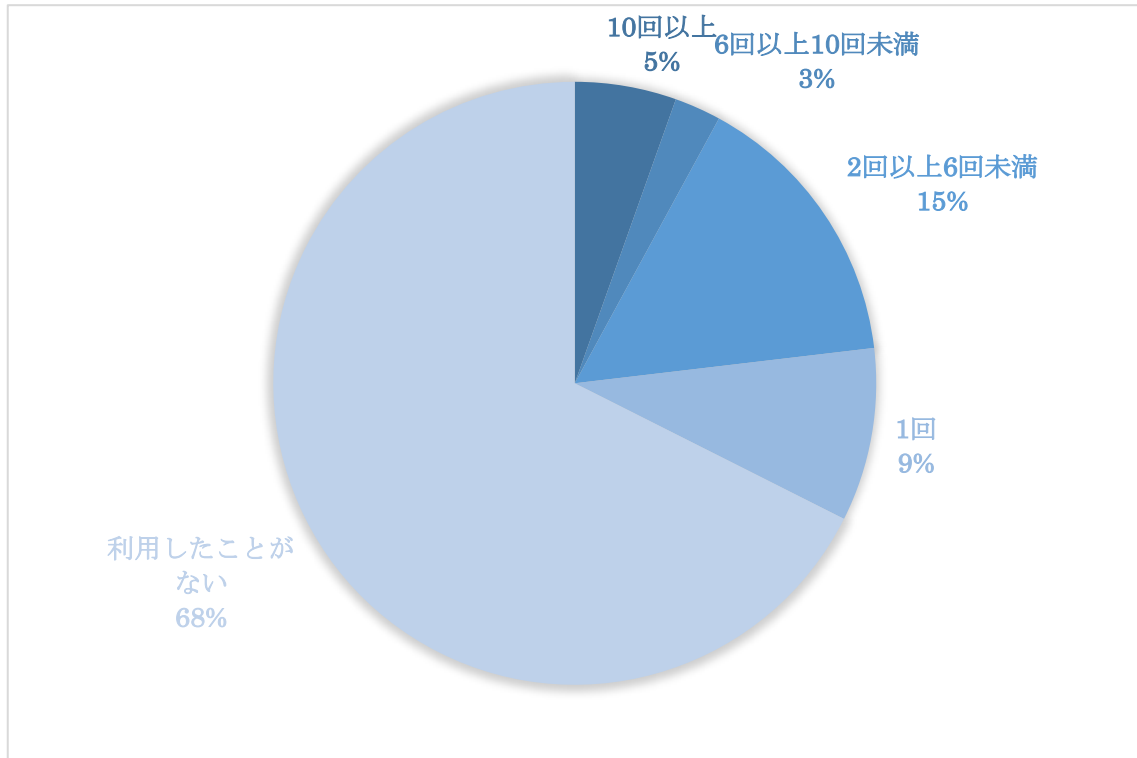
安全な通学ができるようサイクリングロードがあると嬉しい

運動公園を芝生にしてほしい
いろいろな年代の人が触れ合える場がほしい
通学の様子を見てもらいたい
映画館を作ってほしい
勉強できる場所を増やしてほしい
歩道が狭いところがあったりするのでそういう場所を広くしてほしい
公民館で遊びたい
防災対策で耐震強化をしてほしい
公民館で勉強したい
通学路では車のスピードを落としてほしい
勉強できる場所を増やしてほしい
多田地区は遊べるところが少ないので少し増やしてほしい
勉強する場所を増やしてほしい
歩きやすい道にしてほしい
道路がガタガタで、登校（自転車通学）の時に困るから直してほしい
カーブミラーを多く設置してほしい
コンビニ付近の青信号を長くしてほしい
下校時に見回りをしてほしい
猫の保護をしてほしい
屋内プールを作ってほしい
もっと児童館などを使ってほしい
まなびあんの学習スペースに入りにくいので、入りやすい空気を作ってほしい
遊ぶ場所が少ないことから、家にこもってしまう人が多いのではないか
横断歩道を増やしてほしい
明間から皆田に出るまでの道を整備してほしい（道に出ている木等）
たくさんあるドラッグストアやパチンコ店を壊して映画館を作ってほしい
通学路の街灯を今よりも増やしてほしい
子供たちだけでなにかしてみたい
友達とお喋りができる学習スペースが色んな所にほしい
公園に遊具を置いてほしい
近所に勉強できる施設がほしい
ゴミ拾いのボランティアをしてほしい
通学路の通り道をきれいにしてほしい
街のいたるところにごみ箱の設置してほしい
公園を多田小学校区に作ってほしい
遊べる場所をつくってほしい
学校の校舎を新しくしてほしい
水泳部やクラブを作ってほしい
バスケットができるコートやリングを作ってほしい
学習スペースを作ってほしい

サッカーコートをつくってほしい
街灯や信号機を増やしてほしい
通学路にガードレールをつけてほしい
地域の人と遊びたい
歩道橋を新しくしてほしい
屋内外でスポーツできる施設がもっとほしい
通学路で自転車しか通れない道を作ってほしい
国道以外にも雪が積もらないようにしてほしい
人々が関わってほしい
公衆電話を増やしてほしい
もう少しゴミの管理してほしい
雪が降ったときに、自転車も通ることができるように雪かきをしてほしい
中学生は田之筋以外にも行けるけれど、小学生は厳しいので遊べる場所が外に
できてほしい
もう少し魅力を生かしたPRを行って人口流出を防いでほしい

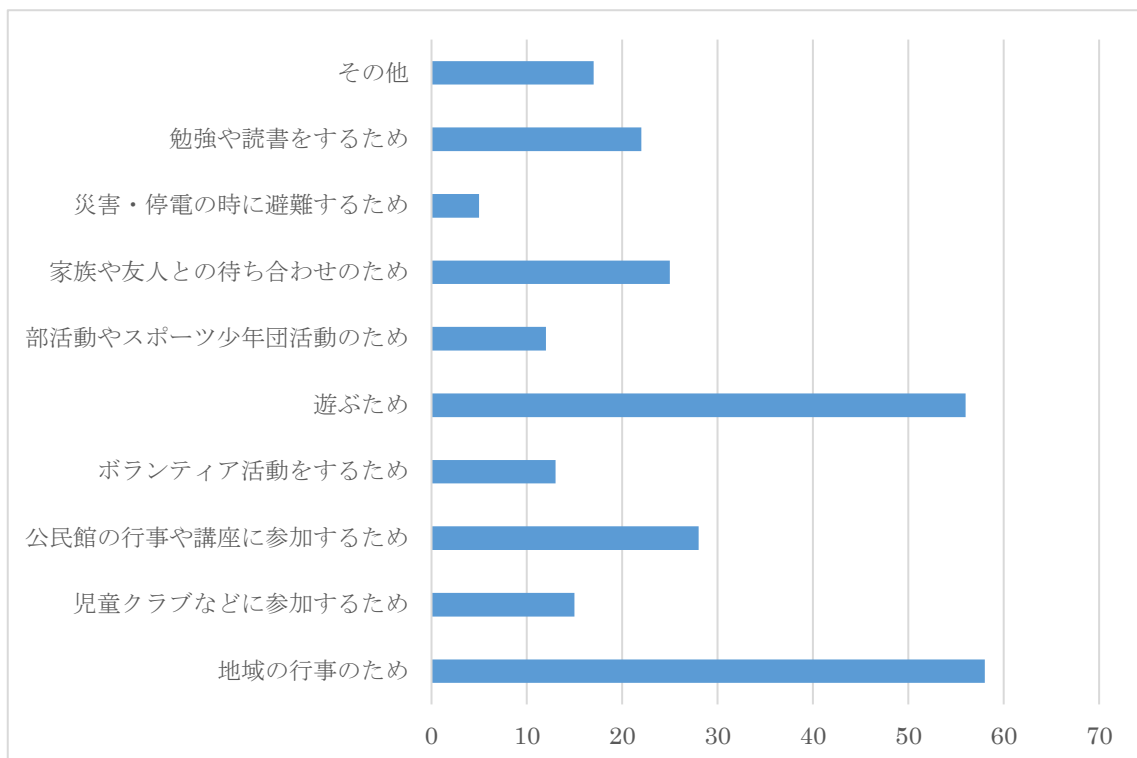
質問 1 1

あなたは、この1年間に公民館を利用したことがありますか。次の中から一つ選んでください。



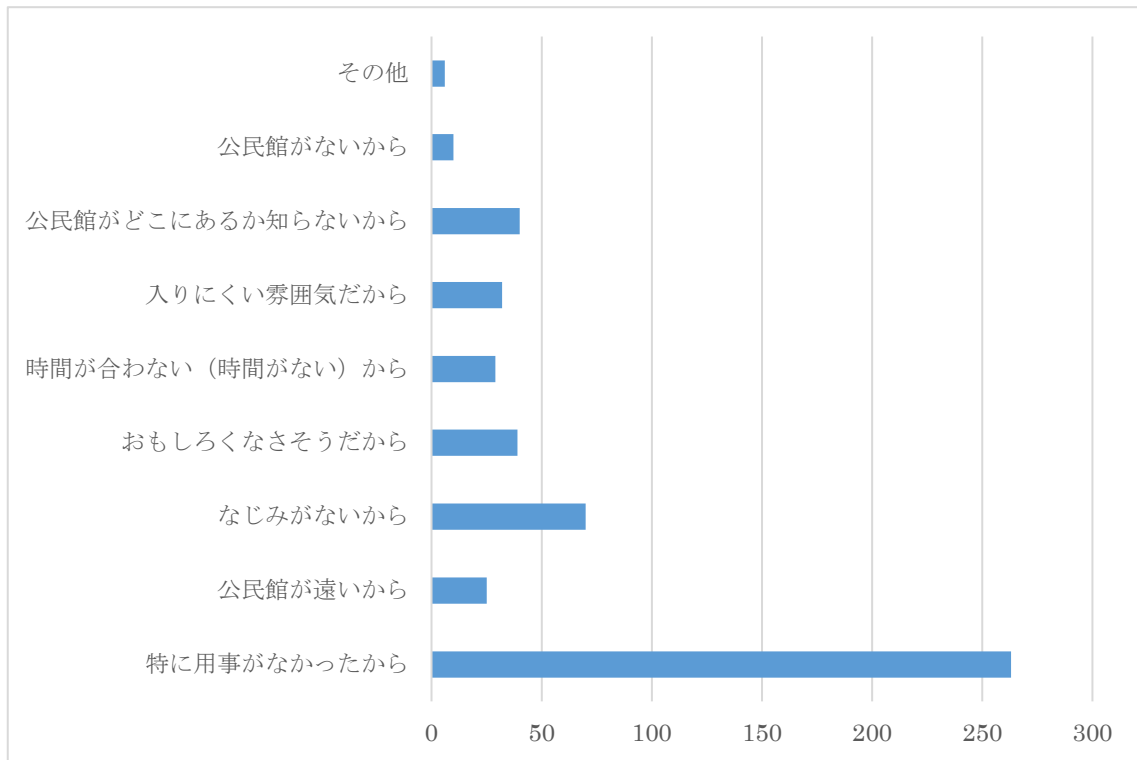
質問 1 2

あなたは、どのような理由で公民館を利用しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



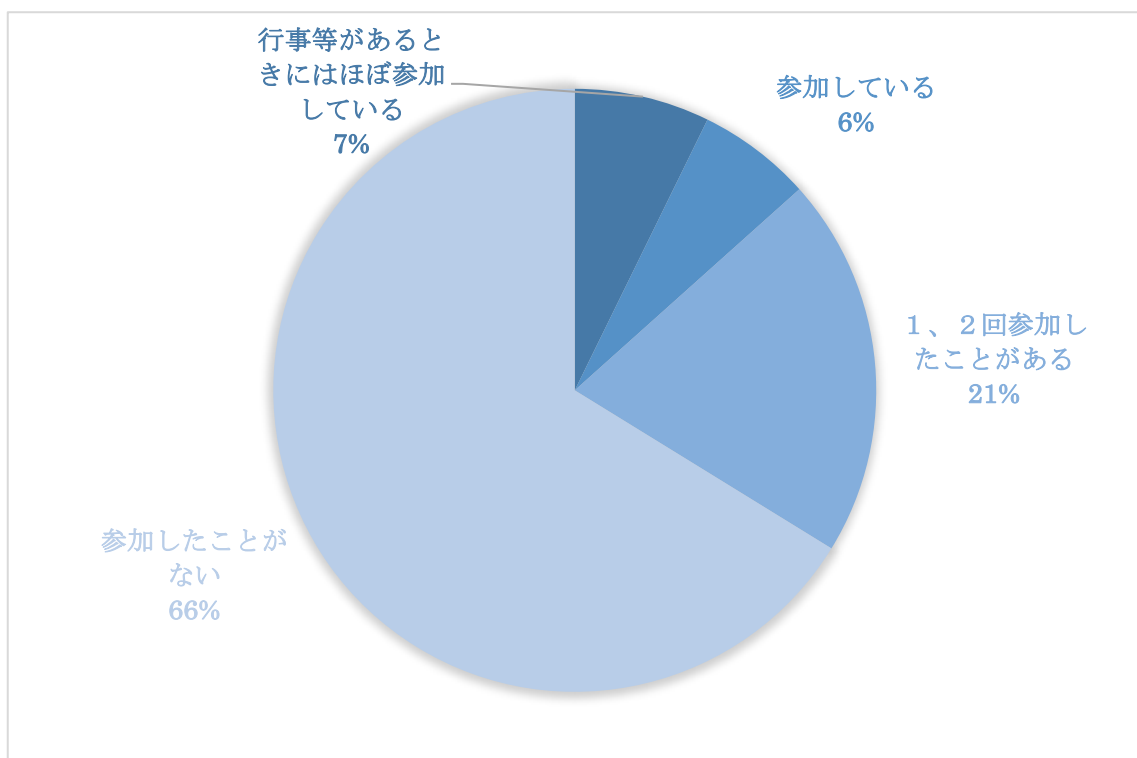
質問 1 3

あなたが公民館を利用したことがない理由は何ですか。 あてはまるものをすべて選んでください。



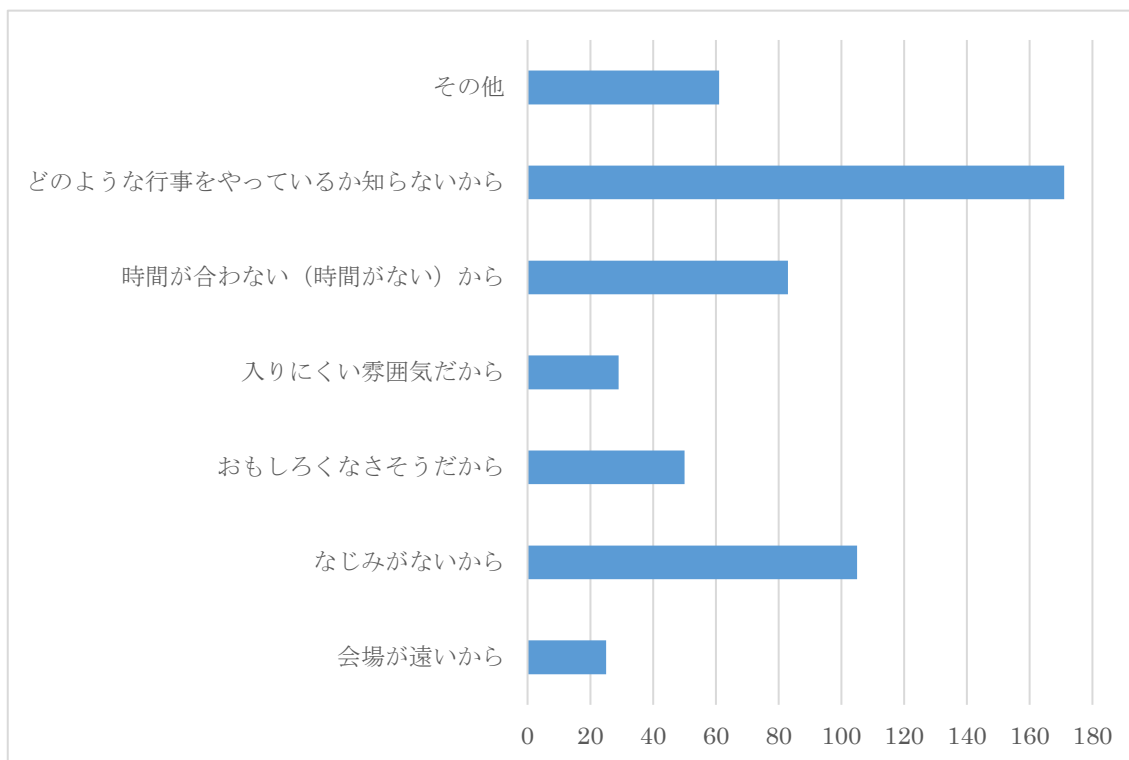
質問 1 4

あなたは、この1年間に公民館の行事、イベントや講座(活動)に参加したことがありますか。次の中から一つ選んでください。



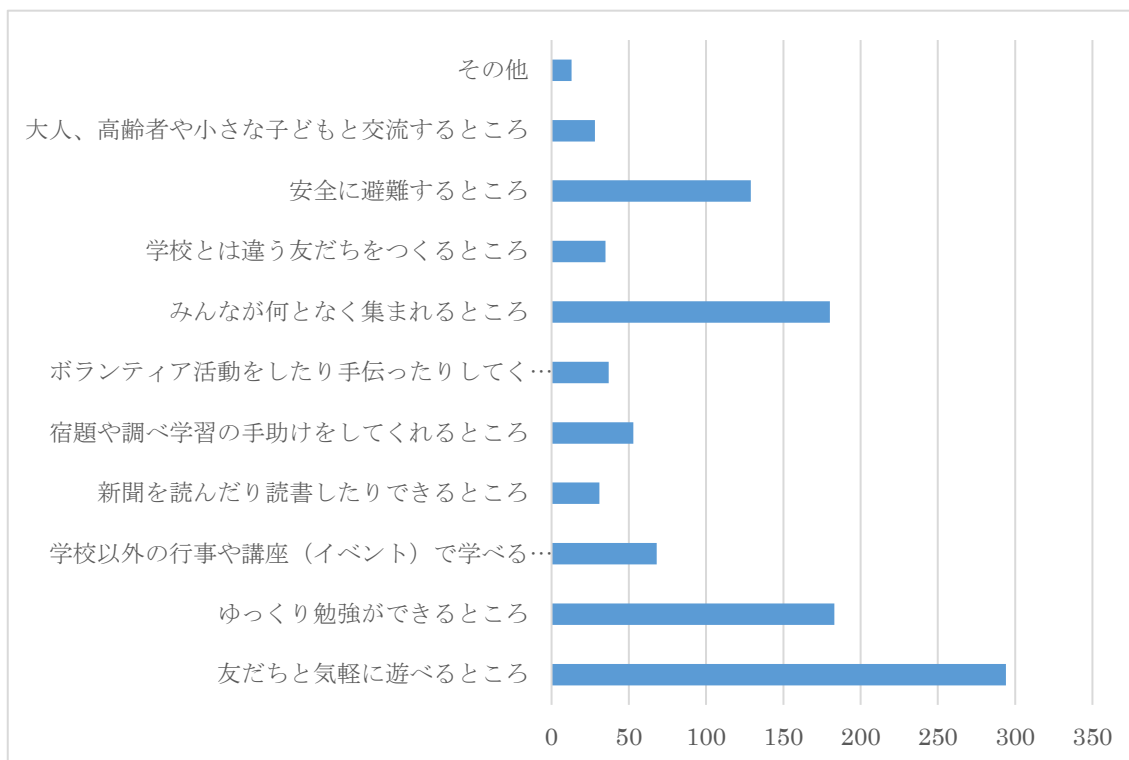
質問 1 5

その理由は何ですか。3つまで選んでください。



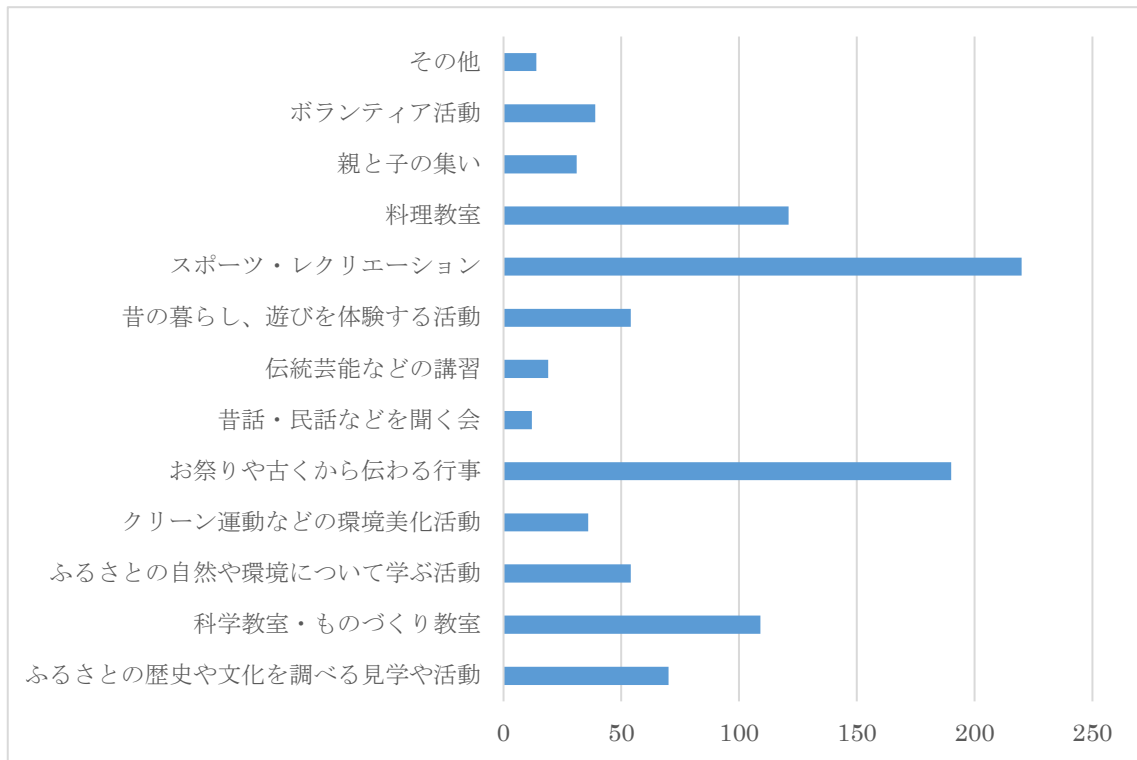
質問 1 6

あなたは、公民館がどのようなところだったらいいと思いますか。3つまで選んでください。



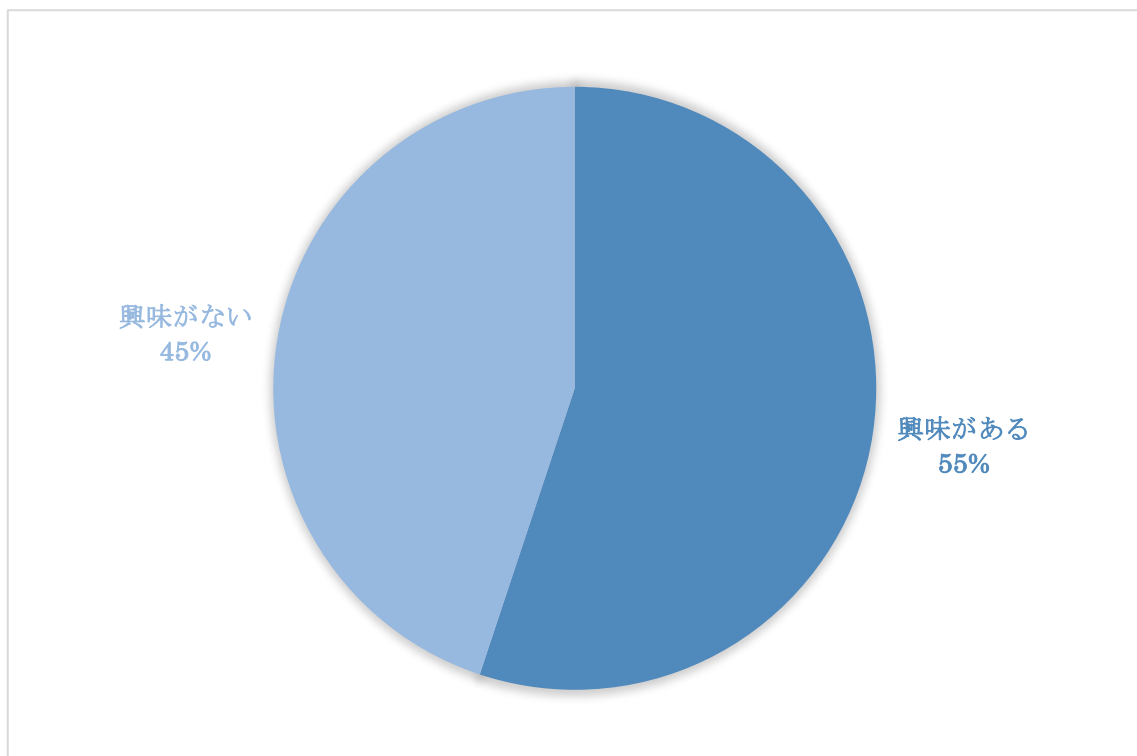
質問 17

あなたは、公民館でどのような行事や講座（イベント）があればいいと思いますか。3つまで選んでください。



質問 18

公民館（地域づくり活動センター）では、児童・生徒が企画する行事（イベント）を作りたいと考えています。興味があるかないかを教えてください。





～重要伝統的建造物群保存地区「卯之町の町並み」～